映画之友

アメリカ映画専門紹介誌

EIGA NO TOMO

Greer Garson

8

Magazine for American Movies

EIGA NO TOMO　Vol. 1 No. 5 August 1946

Rita Hayworth
リタ・ヘイワース

CONTENTS

アメリカ映画
は新世界の眼
だ、耳だ！

American Films, the Eyes and Ears of the New World!

"SMOOTH" PENCILS
ミッキーのお国でも愛されてゐる鉛筆
トンボ鉛筆
東京 トンボ鉛筆産業株式會社

Sun tan Cream
クラブ美身クリーム
上手に日焼けする方法……
Sun Tan Method！
御存じ？
クラブの美身クリームでお肌にスクリーンをかける……と夏のギラギラする紫外線を頂度よく吸収して適度に日焼けさせすつかり健康色に夏のだれ氣味のお肌も活々しますわ

ニキビ小ジワに愁なし
夏は——肌を爽やかに
夏は——肌を色白に
洗顔 アミノ洗粉
本邦最初に完成した皮膚細胞基劑グリココールの素晴らしい浄化力の御愛用を！
東京 寶製薬株式會社

白雪姫のやうに美しくなる
ポリゴン
化粧料
コールドクリーム・香油
榮養クリーム・ポマード
蜂蜜クリーム・コスメチック
ミルクフード・香水
ヘアトニック・口紅
東京日本橋 堀留二の八
ポリゴン化粧料本舗

ィング監督）**アーネスト・ヘミングウエイ**の「**戦場よさらば**」A Farewell to Arms（一九三三年パラマウント映画、フランク・ボザージ監督）**サマーセット・モーム**の「**人の愛**」Of Human Bondage（一九三四年RKO映画、ジョン・クロムウェル監督）**ライアム・オフラーテイ**の「**男の敵**」The Informer（一九三五年RKO映画、ジョン・フォード監督）**シンクレア・ルイス**の「**孔雀夫人**」Dodsworth（一九三六年ユナイト映画、ウィリアム・ワイラー監督）**パール・バツク**の「**大地**」The Good Earth（一九三七年メトロ映画シドニイ・フランクリン監督）……といつた具合に、毎年のモニュメンタルな力作がかうしてベスト・セラー小説の映画化からつぎつぎに生れて行つた。

ベスト・セラーの起源と映画との繋がり

ベスト・セラーの發表が廣く一般に關心を持たれるやうになつたのは一八九五年からである。この年アイオワ州のシーダー・フォールスにある。高等師範學校のアーヴィング・ハーロウ・ハートは自校をはじめ、中西部にあるいくつかの專門學校の圖書館を實地踏査して、小説の中で最も讀書率の高いものを文藝雜誌「ブックマン」に毎日掲載して讀者への手引としまたそれを毎年集計してベスト・セラーのリストを發表して行つたこの發表は第一次世界大戰の勃發によつて一時中絶したが、出版業界誌「パブリッシャーズ・ウィークリイ」の編輯者フレデリック・G・メルヒェルの援助によつて復活し、今日まで續けられた。この活動は、發行部數の競爭になり果てようとするベスト・セラーの通俗性に、ひとつの文化性をあたへたといふ點で、意義深いものがあつた。事實、ベスト・セラーの作品の中には・ピュリッツア・プライズの受賞作をはじめ多くの文藝上の秀作が含まれてゐることは、ベスト・セラーが單なる通俗性の勝利でなく藝術上の勝利をも意味してゐるこの間の消息を物語つてゐるのである。

かうして、單に通俗的な大衆性でなく、それ以上の意味で保障されてゐるベスト・セラーの映画化には、それ相應の愼重さと規模が必要となる。つまり、ベスト・セラーの映画化は、單に出版で成功した宣傳上の威力に追随して興行の成功を狙ふものでなくて、それから新たに映画のベスト・セラーを創造する仕事なのである。

原作を壓倒した「風と共に去りぬ」と「レベッカ」

「**風と共に去りぬ**」Gone With the Wind はそのことを雄辯に物語つてゐる。この小説は、一九三六年、**マーガレット・ミッチェル**といふ無名の一女性によつて執筆出版された。彼女は南北戰爭に武名を轟かせたといふ祖父の書き遺した豐富なメモを資料として、アメリカの明治維新ともいふべき南北戰爭の雄渾な構成の前に、四人の男女の異つた個性と錯雜する事件を豐饒な表現力で書き上げた長篇小説で、出版と同時にベスト・セラーに擧げられ、同年度のピュリッツア賞を授けられた。

↑一九四四年のベスト・セラーの一つ、フランツ・ウェルフェルの小説の映画化「ベルナデットの唄」の一場面、主演は新星ジェニファア・ジョーンズ（左から二人目）である。

忽ちにして數百萬部を賣りつくし、歐米の讀書界を席捲したこの小説は、當然ハリウッドのはげしい企畫慾をそそつた。翌年デヴィッド・O・セルズニックはこの映画化權を獲得して早速製作にとりかゝつたが、その愼重な態度は完成に二年餘を費した。脚色はシドニイ・ハワード、監督はヴィクター・フレミングで、主演には喧しい取沙汰のうちにヴィヴィアン・リイ、クラーク・ゲイブル、オリヴィア・デ・ハヴィランド、レスリイ・ハワードが決定した。前後四時間半に及ぶ總天然色の超大作はメトロを通じて封切られるや、原作にもまして壓倒的な反響を呼び、未曾有の製作費五百萬ドルにも拘らず八百萬ドルの收益をあげたといふ。數百萬部の發行は、勿論それだけの讀者を意味するものにはちがひないが、映画はもはや、ベスト・セラーのレッテル以上に原作者ミッチェルのものではない。作品、監督、主

Let's Learn American Culture from American Movies

アメリカ映画からアメリカ文化を學び取らう！

ベスト・セラーとアメリカ映画

Best Sellers and American Movies

登川尙佐
By Naosuke Togawa

アメリカの讀書界を席捲するベスト・セラーズと映画との關係は深い。アメリカ映画の過去と現在を通じて、ベスト・セラー小説と映画との繋がりを展望してみよう！

過去におけるベスト・セラー小説の映画

エリヒ・マリア・ルマルクの「**西部戰線異狀なし**」All Quiet on the Western Front が一九二九年に出版された。學窓からまつすぐ戰場に狩り出された青年が、すさまじい戰場生活に明け暮れしてつひにただ一發の敵彈に、はかなくも若い命を散つてゆく物語で、ルマルクの痛烈なリアリズムが、戰場の眞實をあますところなく曝け出してゐた。言ふまでもなくこの出版に忽ちにして讀者の話題をさらひ、底知れぬ賣れゆきを示し、ひとりアメリカのみならず世界的な反響を呼んだ。

この劃期的な戰爭小説は、翌年ユニヴァーサルでルイス・マイルストン監督のもとに映画化されて原作に劣らず大變な話題を捲き起し、アメリカ國内で三分の二に及ぶ觀客をさらつてしまつた。

出版で壓倒的な成功を收めた小説を映画化する有利な企畫は、それ以前にもしばしば試みられてゐた。**エマースン・ホウ**原作ジェイムス・クルーズ監督のパラマウント映画「**幌馬車**」The Covered Wagon、**リウ・ウォレス**原作、フレッド・ニブロ監督のメトロ映画「**ベン・ハー**」Ben Hur **P・C・レン**原作、ハーバート・ブレノン監督のパラマウント映画「**ボー・ジェスト**」Beau Geste などはその代表的なものであらう。然し「西部戰線異常なし」の場合は、サイレント時代のさうした成功とは別の意味をもつてゐた。といふのは、トーキー映画の膨張した製作機構を維持するに足るしかもすぐれた映画の可能性は、この作品の壓倒的な成功によつて固く約束されたからである。

幸にしてベスト・セラー小説の隆盛は止まるところを知らなかつた。映画の限りない發展も、この豐かな企畫の提供者とかたくタイ・アップすることによつて、はじめて成し遂げられたといふことができる。それは單に大衆にアピールして映画事業を經濟的に安定させたばかりでなく、映画の藝術的な進歩に強い刺戟を與へるものであつた。取材は新しい分野に斧を打込み、表現はますます豐かさを加へて行つた。

セオドル・ドライサーの「**アメリカの悲劇**」An American Tragedy（一九三一年パラマウント映画、ジョセフ・フォン・スタンバーク監督）**ヴィッキイ・バウム**の「**グランド・ホテル**」（一九三二年メトロ映画、エドマンド・グールデ

↑アーネスト・ヘミングウェイの小説の映画化「誰が爲に鐘は鳴る」に主演するゲイリー・クーパー。共演はイングリッド・ベルグマンである。

ーフィールド主演）**A・J・クローニン**の「**青春時代**」The Green Years（メトロ、ヴィクタア・サヴィル監督、チャールス・コバーン、トム・ドレイク、ヒューム・クローニン主演）などはすでに公開されたが、目下製作中のものは少くない。

サマーセット・モームの「**剃刀の稜**」The Razor's Edge（エドマンド・グールディング監督、ハーバート・マーシャル、タイロン・パワー、ジーン・テイアニイ主演）**マーガレット・ランダン**の「**アンナとシヤム王**」Anna and King Siam（廿世紀フォックス、ジョン・クロムウエル監督、レックス・ハリスン主演）**マジヨリイ・キナン・ロオリングス**の「**イアリング**」The Yearling（メトロ、クラーレンス・ブラウン監督、グレゴリイ・ペック、ジエン・ワイマン、クロード・ジャーマン・ジュニア主演）**エリヒ・マリア・ルマルク**の「**凱旋門**」Arch of Triumph（エンタプライズ・プロ、ルイス・マイルストン監督、シャルル・ボアイエ、イングリット・ベルクマン主演、これは今年になつてから出版されたが、その賣れ行きは十分ベスト・セラーの優位がすでに約束されてゐる。ドイツ軍占領下のパリに於けるドイツ軍醫とフランス女優との戀愛を扱つたもの）これら目下撮影進行中のものの他、現在映画化が決定し或ひは脚本の準備中のものの中には、昨年度のベスト・セラー小説が總て含まれてゐる。

ベスト・セラーの多くは最初の年に數十萬部を賣り上げ、壽命のあるものに讀書クラブの選定され二年以上ベスト・セラーの地位を保ちつゞけて數百萬部の賣上を示す場合が少くない。かうした小説の映画化權は各映画會社のせり合ひによつて、數十萬ドルの原作料が支拂はれ、時には完成した映画の收益に對する一定の歩合金がそれに追加される樣な契約方法さへ最近では珍らしくなくなつた。そしてさらに競爭のはげしくなつた昨今では、未出版のうちに契約して、出版の反響が最高の時機を狙つて映画を公開するといふ出版の宣傳力を最も有効に利用する工夫さへ考へられるやうになつた。

然しながら、映画人のそれほどの狂奔ぶりも、決して度を過してゐるとは言へない樣だ。觀客のベスト・セラーに對する絶對的な信仰に較べれば、映画人のその程度の狂奔はむしろ當然と思はれるのである。そしてまた、さうした血眼ぶりが、單に原作獲得ばかりでなく、その製作にも向けられてゐることを見遁すわけにはゆかない。ベスト・セラーに對する映画人の態度がその樣に忠實であるかぎりアメリカ映画はその社會的な視野と藝術上（技術をも含めて）の表現力をどこまでも豐かにのばしてゆくにちがひない。

∧Gene Tierney ジーン・テイアニー。一九四五年のベスト・セラーの一つジョン・ハーシイの小説の映画化「アダノの鐘」に主演して傑れた演技を謳はれてゐる。

演、撮影その他多くの部門でアカデミイ賞を獲得した映画「風と共に去りぬ」はメトロの、セルズニックの、フレミングの、そしてヴィヴィアン・リイの「風と共に去りぬ」なのであつた。

その翌年は三つのアカデミイ受賞作品がベスト・セラーから生まれた。作品賞の「**レベッカ**」Rebeccaは、**ダフネ・デュ・モリア**の原作で、ビルマのマンダレーを舞臺に、灰色の女中生活から拾はれて富裕な男性と結婚した女性が、幸福のうちにひそむ妖氣を拭ひきれず、遂にその源を夫の手によつて殺された前妻に知るといふ物語である。映画はデュ・モリアの前作「ジャマイカ・イン」と同[illegible]ルフレッド・ヒッチコックの監督で、製作はセルズニック、主演には「嵐ケ丘」のローレンス・オリヴィエと「ガンガ・ディン」のジョーン・フォンテーンがあたり、原作の妖しい美しさが映画的に再現されてゐた。

映画化されたベスト・セラーズ列記

アカデミイ監督賞の「**怒りの葡萄**」The Grape of Wrath は**ジヨン・スタインベック**の小説で、オクラホマの旱拔地方を舞臺に轉々と移住する貧農の救ひのない生活を描いたもので、その徹底したリアリズムで特徴づけられてゐた映画は「男の敵」「驛馬車」のジョン・フォード監督で、製作はやはりウォルタア・ウェンジャー、主演は「黒蘭の女」のヘンリイ・フォンダと「ジエス・ジェイムス」のジェーン・ダーウェル。フォードは翌年**リチャード・レウェリン**のベスト・セラー「**わが谷間いかに緑なりし**」How Green Was My Valley を映畫化してやはりアカデミイ賞を獲得した。

女優主演賞の「**キテイ・フオイル**」Kitty Foyle は**クリストファー・モーレイ**の小説で、成長してゆく一女性を主人公に二人の異つたタイプの男性との戀愛の交錯を描いたもので、映画は「わが町」のサム・ウッド監督、主演は「ステージ・ドア」「キャッスル夫妻」のジンジャー・ロジャースに「此の虫十萬弗」のジェイムス・クレイグと新人デュス・モーガンであつた。

サム・ウッドはその後パラマウントで「戰場よさらば」の**アーネスト・ヘミングウエイ**原作の「**誰が爲に鐘は鳴る**」For Whom The Bell Talls の色彩映画化にあたつた。一兵士の戰場に於けるはげしい人間的な欲求を追求したもので、主演はゲイリイ・クーパーと「カサブランカ」のイングリット・ベルクマンであつた。また同じヘミングウエイのもう一つのベスト・セラー「**持てるもの持たざるもの**」To Have and Not to Have もハムフリイ・ボガート、ウォルタア・ブレナンの主演で映画化された。

一九四三年の作品

一九四三年は「ラインの監視」「キューリー夫人」「淑女と拳骨」「幽靈紐育を歩く」などすでに最近わが國で上映された作品が製作されたが、この年のベスト・セラー映画化作品としては前記「誰が爲に鐘は鳴る」のほかスタインベックの短篇「**月は沈む**」The Moon is Down、**ジョセフ・E・デイヴイー**の「**モスコーへの使節**」Mission to Moscow(ウォルタア・ヒューストン主演)、**アレクサンダア・P・デ・セヴエルスキイ**の「**空軍による勝利**」Victory Through Air Power(ウオルト・ディズニイ製作)があつた。

一九四四年の作品

翌一九四四年のベスト・セラー映画化にはパール・バックの「**ドラゴン・シード**」Dragon Seed **マリオン・ハーグローヴ**の「**ハーグローヴはこゝに居ります**」See Here, Private Hargrove それに前記へミングウェイの「持てるもの持たざるもの」などがあるが、最も注目すべきは二年前ベスト・セラーの第一位を占めた**フランツ・ウエルフエル**の「**ベルナデツトの唄**」The Song of Bernadette であらう。これはベルナデットと呼ばれる娘のはげしく美しい信仰心をテーマにしたものでヘンリイ・キングの監督と新人ジェニファー・ジョーンズの主演によつて映画の達し得るまた一つのジャンルをきり拓いたところに大きな意義を見出す。

一九四五年の作品

昨年はピュリツァ賞を受けた**ジヨン・ハーシイ**の「**アダノの鐘**」A Bell for Adano が廿世紀フォックスで、ヘンリイ・キング監督ジョン・ホーディアック、ジーン・ティアニイ、ウィリアム・ベンディックス、ヘンリイ・モーガン共演のもとに映画化されたのをはじめとして、**フランクリン・ベテイー・スミス**の「**ブルックリンに樹は生ふる**」A Tree Grows is Brooklyn がやはり廿世紀フォックスでエリア・カザン監督、ドロシイ・マッガイア、ジェイムス・ダン、ペキイ・アン・ガーナー、ジョーン・ブロンデル共演で、また**マリア・デイヴンポート**の「**決斷の谷**」The Valley of Decision がグリア・ガースン、グレゴリイ・ペックの共演でそれぞれ映画化された。さらに沖縄で戰死した報道班員**アーニイ・パイル**の「こゝに君たちの戰ひがある」Here is Your War が映画化された「**戰友物語**」A Story of G. I. Joe は劃期的な戰爭映画として注目に値する。これは、炎熱と瘴癘の環境にたゝかふアフリカ派遣の奇襲部隊の英雄的な活躍を描いたもので、純然たる戰線ルポルタージュのベスト・セラーがウィリアム・ウェルマンの才腕によつて戰爭映画の最高峰といはれてゐる。

一段と活潑になつた本年度の作品

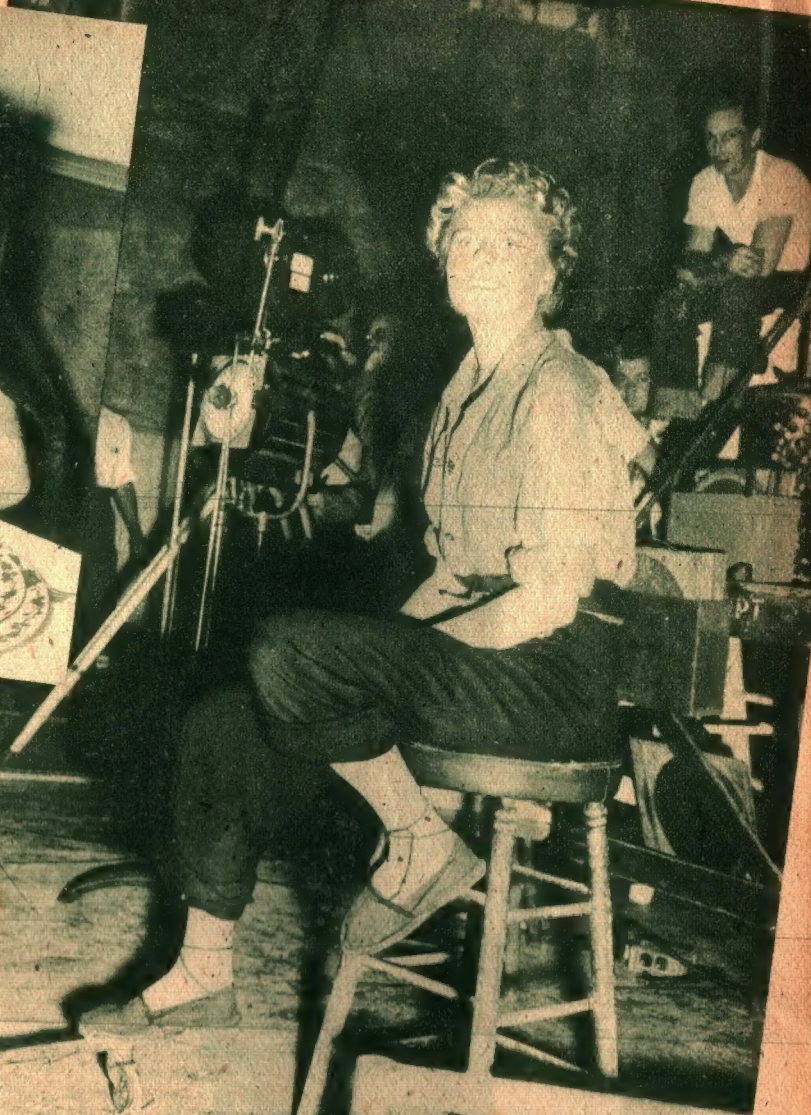
さて本年に入つてベスト・セラーの映画化は一段と活潑になつたやうにみえる。**ウイリアム・ホワイト**の比島作戰を扱つた「**彼等は消耗品**」They Were Expendable(メトロ、ジョン・フォード監督、ロバート・モンゴメリイ、ジョン・ウェイン主演)**ベン・エイムズ・ウイリアム**の戀愛と嫉妬を扱つた「**彼女を天國へ**」Leave Her to Heaven(廿世紀フォックス、ジョン・M・スタール監督、ジーン・ティアニイ、コーネル・ワイルド、ヴィンセント・プライス主演)**ジエイムス・M・ケイン**の探偵小説「**郵便屋はいつも二度ベルを鳴らす**」The Postman Always Rings Twice(テイ・ガーネット監督、ラナ・ターナー、ジョン・ガ

Glamour, Ingrid Bergman

By Frank Emery

イングリッド・ベルクマン素描

「星條旗」紙記者　フランク・エメリー

世界の人氣を一人で背負つてゐる觀のあるイングリッド・ベルクマンは、恐らくハリウッド・スターの型破り的存在といへるだらう。なぜなら、彼女にはハリウッドのスターには附きもの〻華やかさとか尊大なところがない。健全な思想といかなる場合にも失はない正しい自尊心と態度の中に、底光りするやうな愛すべき單純さを持つてゐる。

ハリウッドではどのやうに勢力のある、そして有名な女優でも、〝ベビー・ダーリング〟とか〝ドール〟とかいつた名稱で呼びかけられるのが當り前のやうに考へられてゐるが、それ等の中にあつてベルクマンだけは、嘗て〝ミス・ベルクマン〟以外の名前で呼ばれたことがない。然しこれは、決して彼女が人々に親しまれてゐないからではない。彼女にはむしろ多くの崇拜者があるが、彼女の持つ雰圍氣が〝ベビー〟〝ハニー〟といふやうなペット・ネームを使ふことを許さない。

彼女は常に潑剌とした健康美に輝き、そして生活力に溢れて、次から次へと仕事を續けるのが好きだ。

スクリーンではそれ程迄に感じないが、彼女は五呎八吋半あるから、むしろ大女といへるほどの身長をもつてゐる。ゲーリー・クーパーやグレゴリー・ペックのやうなノッポの相手役だといゝが、一寸背の低い相手役だと、彼等は臺に乘つて相手を勤める。彼女の骨格は大きくがつちりしてゐるが、體重は百十八ポンド前後である。それでも苦勞して時々減食してゐる。

然しスクリーンの彼女は決して大き過ぎるとかごついとかいふやうな感じは受けない。それは彼女の顔が身體と比較して割合と小さく、そして大きな目に比して鼻、口、顎の線が柔く美しく形作られてゐるためだらう。

ハリウッドの女優の大部分が化粧された美しさに賴つてゐるのに反して、ベルクマンの美しさは自然のまゝの、そして健康に光り輝いた美しさである。新鮮な桃を思はせるやうな肌、眉、澄んだ目、紅をつけない唇、どこといつて少しも不自然なところがない。

彼女の仕事熱心なことは有名で新しい相手役と働く時には前以て彼の出演した映画を見て、彼の演技の研究をする。監督の場合でもさうで、映画を通して相手役の、そして監督の癖を知つておくことは一緒に仕事をする時どんなに役立つか知れないといつてゐる。

ストックホルムの寫眞技術者を父として生れた彼女は、幼い時からカメラには慣れてゐる。そして學校時代には演劇研究會の部長として演劇の研究に專念した。その後、瑞典の國立演劇學校に入校して本格的な演技を學んだ。在校中に瑞典の映画界で働くやうになり「間奏樂」その他の映画に主演して有名になつた。そして演劇學校卒業當時は既に押しも押されもしないスターとなつてゐた。

右の「間奏樂」に主演後、ハリウッドの大プロデユウサー、ダヴイッド・O・セルズニックに招かれたが、これを斷つて本國のスクリーンとステージに活躍を續け、映画の方では十一本の映画に出演してゐる。

この間、リンド・ストロム博士と結婚して一子ピアを儲けてゐる。

約六年前、遂にハリウッドの招きに應じて一本契約で渡米、「間奏樂」の米國版に主演したのを機會にずつとハリウッドに踏みとゞまつて今日に至つた。これ迄の主演映画に、「間奏樂」「ジキル博士とハイド」「アダムは四人の息子を持つ」「天國の怒り」「ガス・ライト」「カサブランカ」「サラトガ本線」「聖マリー寺院の鐘」「スペルバウンド」「ノートリアス」等があるが一つとして同一タイプの役を演じたことがなく、全く異つた性格表現においてどれもとれも完全に成功してゐるのは全く驚異的である。

家庭にあつては良き妻良き母として、花園に圍まれたしようしやな家に二人の女中を相手に滿ち足りた生活を續けてゐる。

ハリウッド三千萬弗女優といはれるベルクマンの往く道は長く、その前途はまぶしく光り輝いてゐる。

彼女、一九一八年八月二十八日の生れである。

ある日クイムブ夫人から教會へ電話がかゝつて來た。家主から追ひ立てを喰つてゐるといふ。そこでオマリーが調停に出かけて行くとクイムブ夫人に箒で追ひ出されて來たテッド・ヘインズに會つた。彼は家主として店子を追ひ立てに來てゐたのだ。オマリーは事情をきいた上で「教會が保證するからもう一月待つてくれ」と頼んだ。そのくせ教會そのものはテッドの父親に全部抵當物として入つてゐたのだ。しかしテッドは不承不承に承知した。その歸り途、トニーとハーマンといふ近所の不良少年がトラックに積んだ七面鳥を盗み出すのを、オマリーは見つけた。少年達は七面鳥を持つて教會の中庭へ入つたところをフイッツギボン師に見つけられたので、籤で當つたのだと嘘をついて牧師に贈呈した。その夜の食卓にはそれはロースト・ターキーとなつて現はれた。フイッツギボンは大好物のこととて賞味してゐるところへ、オマリーに頼まれた巡査がトニーとハーマンを捕へて來た。二人は叱られるものとばかり思つたのにオマリーが野球へ招待したので怪訝に思ひながらも嬉しげに歸つて行つた。その後でオマリーは七面鳥の盗難事件を話すと老神父は口にした肉を七面鳥のやうに眼を白黒させて呑みこむのだつた。

またある日、十八歳になるキャロール・ジエームズといふ家出娘が警官に連れられて來た。彼女は歌手志望のやんちや娘だ。兩親からは髪が短すぎるの、やれ長すぎるの、さては夜遲くまで男友達と遊んではいけないのと始終文句を言はれるのを嫌つて家出して來た娘だ。オマリーは、「僕が十八の時には親爺は馬鹿だと思つた。二十一になつたら、親爺が偉いことが判つた」と暗い家へ歸ることを薦めるがキャロールは承知しない。オマリーは「これから毎日」を唄はせて歌ひ方の指導をする、所もあらうに教會内で歌謠曲の歌聲が聞えるので驚いたフィッツギボン神父が二階から降りて來て、事情を聞き娘に女中奉公を薦めるが承知しないので、家へ歸れと命じた。オマリーは乏しいフイッツギボンの財布から十弗紙幣を出させてキャロールに當座の費用のために與へた。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

神父「チヤツク」オマリー……ビング・クロスビイ
ジエネヴイエヴ・リンデン……リシー・スティーヴンス
神父フイツツギボン……バリー・フイツツジエラルド
神父テイム・オダウド……フランク・マクヒュー
テツド・ヘインズ……ジエームズ・ブラウン
その父ヘインズ……ジーン・ロツクハート
キヤロール・ジエームズ……ジーン・ヘザー
ベルクナツプ氏……ポーター・ホール
トマソ・ボザンニ……フオルチユニオ・ボナノヴア
カーモデイ夫人……エイリー・マリオン
ロバート・ミツチエル少年聖歌隊

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

老ひたる身に

オマリーは町の少年達を集めて聖歌隊を組織しようとして餓鬼大將のトニーに皆を集めさせた。トニーは野球見物を恩に着てオマリーを崇拜してゐるので町の少年を教會の地下室に集めて聖歌隊が作られた。歌聲はフィッツギボン神父の心をいらだたせた。彼はさうした華かなことが嫌ひだつたのだ。そしてこの若い助手と生活してゆくことが自分の生活態度を亂されるやうに感じて、彼はオマリーを他の教區へ轉任させることを頼みに司祭の許へ訪ねて行つた。しかし彼が司祭の口裏から察し得たことは、彼の意圖とは反對に、彼が隱退してその後任にオマリーが据ゑられる豫定だといふことだつた。自らが建設し、自らが四十五年も維持して來た聖ドミニック教會を去るといふことは老神父には耐へられない淋しさだつた。

打ち挫がれ、落膽して彼は教會に歸つて來た。そして家政婦のカーモデイ夫人にオマリーを呼びに

日本版について

新輸入のアメリカ映画の多くは、日本版のタイトルが横書きで讀み悟く、その上誤字や假名使ひの誤りが多かつたり、タイトルの出る時間が短かすぎて讀み切れなかつたりと、頻々たる苦情ですが、この事情を御説明して本誌讀者諸君の御諒解を得たいと思ひます。

最初アメリカ映画の日本への輸入が決定したのは、終戰直後の昨年の秋で、十一月の初めに代表者のマイケル・ベルゲル氏が來朝したのですが、紐育の各映画會社では、日本は爆撃の結果現像所の設備もないであらうと考へて、各社とも日本へ送る最初の二本又は三本を紐育で日本版に作つたのです。「キューリー夫人」「春の序曲」「ラインの監視」「迷へる天使」「ルパン登場」「此の虫十萬弗」「桃色の旅行鞄」「嘆きの白薔薇」「カサブランカ」「呪ひの家」「銀嶺セレナーデ」「追憶」等の日本版は紐育製です。パラマウントと二十世紀フオックスとはタイトルを縦書きにして居ますので縦書きの日本版でも油斷は出來ません。

その他に「黄金狂時代」と「キングコブラ」の二本は紐育で日本語解説を錄音して來ましたがこのアナウンサーも感心出來ない出來榮えでした。

然し、爆撃を免れた現像所が日本にもあり日本版の製作が可能である事が判つたので、各社とも今後は紐育での日本版製作は中止する筈です。

現在迄にこちらで作つた日本版は「エイブ・リンカン」「王國の鍵」「拳銃の町」「ブロードウエイ」「淑女と拳骨」「最後の地獄船」「幽靈紐育を歩く」「我が道を往く」、この他にも數本、既にこちらで日本版の製作にとりかゝつてゐる作品がありますから、これ等の作品に關しては、十分皆様の御滿足を得ることゝ思ひます。

然し今後封切される筈の幾つかの作品は、まだ紐育製のものがありますから、當分の間は、あちら製と、こちら製が入り混つて提供される事と思ひます。

日本版の飜譯と云ふものは、出來上つたものを見ると左程にも感じませんが、仲々面倒な仕事です。

要求される第一の條件は、英語の臺辭を耳で聞くと同じ時間に、その飜譯を眼で讀み終らなくては成らない事です。どうしても口で喋る方が早いですから、喋る言葉全部を飜譯したのでは、到底耳で聞くと同じ時間に讀めるものではありません。從つて、字幕の文章は或る時には飜譯でなくて創作である事が必要です。

第二の條件は、タイトルを讀んだだけで、映画の内容が判らなくては成らぬ事です。全部の臺辭を飜譯したのでは字幕ばかりがベタ一面に出て、画面を見る暇がありませんし、字幕の數が少なすぎては、一體今何を喋つてるのだらうと觀るものに不安感を與へます。少なからず多からず、と云ふことが必要です。

第三の條件は、出演人物の年齢、性格、教養程度に相應しい語調を使ふべき事で、さもないと映画の持つ味が傷つけられます。

以上三つの大きな條件を滿足させる日本版は、經驗のない、そして日本語知識の不足して居る紐育の在留同胞に期待する事は最初から無理な話なのです。どうか、もう暫く御辛抱下さい。

（C・M・P・E製作部）

一九四四年度アカデミー受賞作品

我が道を往く

Going My Way

レオ・マツケリー製作原作監督作品
ビング・クロスビー主演
バリイ・フイツジエラルド助演

解　説

「明日は來らず」「ロイドの牛乳屋」「人生は四十二から」等のパラマウント映画の監督として我々に親み深い**レオ・マツケリー**の筆になる原作を、フランク・バトラーとフランク・キャヴェットが共同脚色した映画。製作、監督ともに原作者たるマッケリーで、撮影監督はライオネル・リンドン、美術監督は老練ハンス・ドレイアー及びウィリアム・フラネリ、編輯者はレローイ・ストーンである。

この映画の主題歌は、"Going my Way" "The Day After Forever" "Swinging on a Star"の三つであり、ジョニー・バーク、ジェームズ・ヴァン・ヒューゼンの二人の有名なコンビがそれぞれ作詞、作曲に當つた。音樂監督はロバート・エメット・ドーラン、合唱曲編曲はジョーゼフ・J・リレイである。

これはパ社の一九四四年度作品であり、同年度のアカデミー受賞作品となつた。それと同時にレオ・マツケリーは同じく監督賞を、主演のビング・クロスビイは同演技賞を、助演のバリー・フィッジェラルドは同男優助演賞を受けた。クロスビイは言ふ迄もなく全米一のクルーナーであり、パ社の音樂映画の數々に出演してゐるが、彼の相手女優であるリシー・スティーヴンスはネルソン・エディの相手役として「チョコレート兵隊」に出演して以來これが二度目の出演映画で、メトロポリタン・オペラのコントラルトとして有名な彼女は、此の映画の中で「カルメン」の中の「ハバネラ」を獨唱し、且つクロスビイやロバート・ミッチェル少年聖歌隊と共に、グノーの「アヴェ・マリア」「アデステ・フィデリス」讃美歌「聖しこの夜」などを歌つてゐる。因みにクロスビイは前記の主題歌の他の得意とするチヤウンシイ・アルコット作曲の愛蘭土子守唄「トゥー・ラ・ルー・ラ・ルー・ラル」を歌ふ。

助演者としては、アベイ劇場の性格俳優として有名なバリー・フィッジェラルドが牧師に扮して絶妙な神技を示し、「エイブ・リンカン」に出演したジーン・ロックハート、その他フランク・マクヒュー、ポーター・ホール等の腕達者連と若いジェームズ・ブラウンとジーン・ヘザーの二人が出演してゐる。

梗　概

聖ドミニツク教會

ニュー・ヨークの西四十九丁目の近くの人氣の惡い街を、「チヤック」オマリーといふ若い神父が聖ドミニツク教會を探して歩いて來た。彼は財政的に行詰つてゐる聖ドミニツク教會のフイツツギボン師を助けて教會の復興を計るやうに司祭から命ぜられて來たのだ。そして神父フィッツギボンは既に四十五年もその教會にゐて老齢でもあるので、近くオマリーがその跡を繼ぐ內命が下つてゐた。彼はスポーツが好きで音樂好きで、明るい青年であつた。

だがその教區に於ける彼の最初の行動は失敗つゞきだつた。道を尋ねた相手は、その教區きつてのお喋り女のクイムブ夫人で、彼女にはからかはれ、往來で野球をしてゐる少年に賴まれて右翼を受持つたとたん、打たれたフライが彼の頭上を越して、ベルタナップさんのアパートの窓硝子をこわしてしまふ、やつと謝つて返して貰つたボールが道傍に停つてゐるトラックの下に轉りこんだので、車の下へもぐつてとらうとしたところへ、撒水車が來て水を浴せられてしまふ。從つて始めて會ふフィッツギボン神父の前へは、スポーツ用のトレーニング・シャツで現はれなければならない始末だつた。

舊い型の牧師であるフィッツギボン師には、若く新しく所謂宗教家くさくないオマリーが理解出來ない。屆けられた彼の荷物といへばゴルフ道具にラケットに釣竿。會堂に入る時に生垣を飛び越す。友人の牧師オダウドと電話で合唱はする。賑かで、瞑想的なところは微塵もない。だが惡感は持てない青年だと彼は思つた。

けた出版業者の耳に入り曲は買はれることになつた。そしてその金は教會で献金された。

翌日、フィッツギボン神父は、珍らしいことに、オマリーとオダウドに伴はれてゴルフに行つたが歸つて來てからは將棋をした。恐らくは抵當の利子を全部拂ひ、翌月の支拂ひも確保されたことが、彼の氣持を輕くしたためであつたらうが、又若い人達に影響されたことも確かであつた。だが、その夜教會は火災のため燒けた。四十五年の努力を思つて老神父は悄然としたが、オマリーとオダウドは彼を激勵し慰さめてくれた。

ジェネヴイエヴ・リンデンは、少年聖歌隊を連れて演奏旅行をしてゐた。そして教會のために金を集めてゐた。それらの金で教會は木造の假普請ではあつたが再建された。

クリスマスが近づいた頃、オマリーは司祭の命令で、他の教會へ轉任することになつた。その教會も又いろんな困難なことが山積してゐる教會だつた。轉任の話をきいて老神父は淋しがつたが、微笑みながら言つた。

「あそこの神父も老人で、あんたのことで司祭のところへ苦情を言ひに行くかも知れない。經濟も苦しからう。だがあんたはコツを覺えてゐる。あの神父もやがて氣持が若々しく變るこつたらう」

オマリーの代りにオダウドが聖ドミニツクの副牧師になつた。銀行家のヘインズ氏が教會の抵當を寄附したので教會の本建築の豫定がついた。

オマリーの送別の集りが假會堂で行はれた。

フィッツギボン神父は會衆に向つて話した。

「オマリー神父と別れることは淋しい限りです。彼はいゝ人でした。彼はいつも他人のことのみを考へ人生を美しいものにしました」

その時非常に老齢の婦人がフィッツギボン神父のところへ歩み寄つた。それは老神父の母親であり、オマリーが愛蘭土から呼んだのだつた。

老いた親子はしつかりと抱き合つた。その二人の姿を見ながら、オマリーは鞄を提げ、靜かに會堂を出て行つた。少年聖歌隊の歌聲が歩み去るオマリーの身體を柔かく包んだ。

パラマウント映画

Katharine Hepburn

あの個性の強いキヤサリン・ヘプバーンが久し振りにスクリーンに歸つてきた。カムバツク映画はコンラツド・リヒター原作の現代メキシコに於ける家畜業を扱つた小説の映画化「草の海」"Sea of Grass" で、スペンサー・トレイシーが共演してゐる。

やらせた。

「率直に言ひますがいま司祭のところへあんたの轉任を頼みに行つて來た。しかし私の用件を切り出す前に司祭はあんたのことを賞めちぎつてゐだ。だから僕は隱退してあんたにこの教會を任せるやうに提案したら、司祭はホッとして居られた。ところで僕が出て行く前に何かしておかなければならないことがありますかな？」

「ありませんよ、それに僕達一緒に仕事をして行つたらいゝぢやありませんか」

「いや、あんたがこゝを經營するのだ。僕は少し寢ませて貰ひませう」

と言ひながらフィッツギボン師は二階へ上つて行つた。夕飯の時になつた。

オマリーが食卓で待つてゐても神父が降りて來ないのでカーデイ夫人に呼びにやると老神父の姿は見えなかつた。そして彼の荷物もなくなつてゐた。

オマリーは外套を着て夜の雨の中へ出て行き、警官に神父の搜索を頼んだ。そしてその夜、彼とカーモデイ夫人はフィッツギボン師の歸りを、玄關の椅子の上で遲くまで待つてゐた。やがて警官に伴はれて老神父はしよんぼりと歸つて來た。そして扉をおづおづと開けて照れ臭さうに

「身の振り方を定めるまで、一時僕は歸つて來ました。だがあんたの御邪魔はせんつもりです」

オマリーとカーモデイ夫人は眼で笑ひながら、一言も言はずに老神父を見詰めてゐたがびしよ濡れになつた老人が嚏みをしたので、早速着物を脫がせ、辭退する彼を寢室につれて行き、食事を運んでやつた。

「僕はお腹が空いてゐないが、是非喰べろと言ふのなら戴きますよ」

そのくせ、幾皿かの食物は見事に平げられた。その後でオマリーに隱してあつたウイスキーを取り出させて風邪除けに飮んだ。その酒は每年故鄕のアイルランドにゐる今年九十歲の老母が送つてくれるものだつた。

「僕は少しでも金がある時には、故鄕へ歸つて母親に會ひたいと思つた。母親は美しくて歌が上手だつた。あんたは『トウー・ラ・ルー・ラ・ルー・ラル』の歌を知つておいでかな？」

老神父は壁に懸けた母の寫眞を見ながら言つた。オマリーはその愛蘭土の子守唄を口づさみ出した。フィッツギボン神父は、ベッドの中にもぐり眼を閉ぢた。オマリーは、神父が眠つたのを見ると後片づけをして電燈を消し、そつと外へ出ようとすると。

「お寢み」

と老神父が言つた。オマリーは笑ひ出した。少年達をある夜劇場へ連れて行つた歸りに、オマリーは昔馴染のジェネヴィエヴ・リンデンに會つた。彼女はいまメトロポリタン・オペラ・ハウスのメッツオ・ソプラノとして「カルメン」を演じてゐるのだつた。招ぜられるまゝにオマリーは彼女の演技を見て教會へ歸つて來た。

翌日お喋りのタイムブ夫人が教會へ來て、アパートの自分の向ひの部屋にキャロール・ジェームズといふ歌を唄つてばかりゐる娘が來て、そこへ朝早くから夜遲くまで家主の息子のテッド・ヘインズが入り浸つてゐるので眠ることも出來ないから何とかしてくれと苦情を言つて來た。そこで、オマリーはキャロールのアパートを訪ねて二人が正しい道を踏むやうにと「我が道を往く」の歌に寄せて忠告した。若い二人はオマリーが去つた後感動して自分達の生活を反省し出した。そしてテッドの父親には內密ではあつたがオマリーの手で正式な結婚をした。そして後には父親の承諾も得た。間もなくテッドは空軍に志願した。

心美し、わが道をゆく

聖ドミニック教會の財政狀態は益々逼迫して來て何とか手を打たねばならぬところに來てゐた。オマリーの親友のオダウド神父は知り合ひの樂譜出版業のマックにオマリーの作曲した歌を賣りつけて教會の經費を得ようと奔走してゐた。

たまたま、聖歌隊の練習の場にオダウドと共に來合せたジェネヴィエヴ・リンデンは、オマリーの作曲した「我が道を往く」が氣に入つたのでメトロポリタン・オペラのオーケストラと少年聖歌隊を使つて、出版業者に聽かせてその曲を賣らうと計畫した。それは美しく歌はれたが、歌謠曲としては高尚すぎたので出版社は買入れを斷つてしまつた。オマリーを初め皆は落膽したが、オーケストラ指揮者の需めに應じて、出版社の連中が歸つた後で、「星の上で踊る」を合唱した。この歌聲が、歸りか

爲に製作する「追跡者」"The Chaser" に主演中である。彼女の對手役はロバート・カミングス、アレキシス・ミノティス、ヨランダ・ラッカ等で、アーサー・リプリーが監督に當つて居る。現在のハヴァナを背景としたメロドラマである。

ディズニー 最初の劇映画

從來**ウオルト・デイズニー**はミッキー・マウスやシリー・シムフオニーを始め、長編に至る迄、全部漫畫しか作らなかつたが、今度最初の劇映画を製作する事に成りすでにハロルド・シヤスター監督で撮影が開始された。題名は「**我が心に懐かしき**」"How Dear to My Heart" で、ビューラー・ボンデイ、バール・アイウス、ボビー・ドリスコール、ルアナ・パットン等が出演する。勿論天然色であるが、全篇中に三百呎だけ漫畫が使用される豫定である。製作豫算は百五十萬弗が計上されて居る。

ゾルタン・コルダ 英國で監督

「カラナグ」「ジヤングル・ブック」等を監督した**ゾルタン・コルダ**は、目下既報のハミングウェイ原作の「フランシス・マツコーマーの短い幸福な生涯」(グレゴリー・ペック主演)の監督中であるが、これが終り次第に英國に歸つて、アレキサンダー・コルダの主宰するロンドン・フイルムで二本の映画を監督する契約をした。第一回作品はトマス・マン原作の「**魔法の山**」"Magic Mountani" で、二本目はフランツ・リストの生涯を描いたオリヂナルもの「**ハンガリー狂詩曲**」"Hungarian Rhapsody" と決定した。

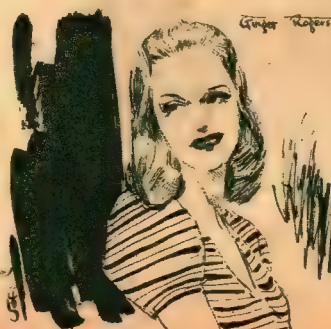
ジヤン・ピエール・オーモン 夫妻共演映画

「心のときめき」でジンジャー・ロジャースと共演した**ジヤン・ピエール・オーモン**は夫人の**マリア・モンテス**を對手としてチャールス・R・ロジャース・プロダクションの「ハートの女王」"Queen of Hearts" に主演する契約をした。これはベスト・セラーの「金羊毛」"Golden Fleece" の映画化で、オーストリアのフランツ・ヨゼフ皇帝とエリザベス女王との戀物語を主題としたもの。二百萬弗の豫算で、アレキシス・サーン・タキシスの監督のもとに、本年十一月頃撮影開始の豫定である。尚オーモンはMGMの專屬であり、モンテスはユニヴアサルのスターであるが、この映画出演のために二人は各々自分の撮影所から特別出演の許可を得た。

ロレッタ・ヤングの 新作品開始

RKO映画「ケイティーを議會に」"Katie for Congress" がH・C・ポッターの監督で開始された**ロレッタ・ヤング**が主演し、**ジヨーゼフ・コツトン**、エセル・バリモアが助演するほか、チャールス・ビックフオードが最初の喜劇役を演じる。彼の役は駄洒落を飛ばすバトラーである。尚アンナ・キューー・ニルスンもこの映画に出演して居る。

ジンジヤー・ロジヤースの 新契約

ジンジヤー・ロジヤースはRKOと一年一本の出演契約があるがその他に他社で何本作つても良いと云ふ條件なので、新しく創立されたエンタプライズ社とも出演契約を結んだ。第一回作品は「ギルダ」の原作者イー・エイ・エリントン原作の「マッギ・ジュライ」"Maggi July" でウォルフガング・ラインハルトが製作に當り、ジンジヤーの夫君で最近復員したジャック・ブリッグスがアソシエイテッド・プロデューサーを勤める。彼女の出演料は十七萬五千弗で、その上映画の純益の四割を與へられる事に成つて居る。尚エンタプライズ社のスター引拔きは着々進行し、前號に報じた**バーバラ・スタンウイツク**、ジョーエル・マックリー、ジョン・ガーフイールドの外に、**イングリツド・ベルクマン**、**シヤルル・ボアイエ**も出演契約を結んだ。この會社の作品はどこから發賣されるか未だ決定を全つて居ない。

Studio News

★二十世紀フオツクス社

▽**ヘンリー・ハサウエイ**の監督した「暗い町角」"The Dark Corner" が完成發表された ルシル・ボール，クリフトン・ウエッブ，ウイリアム・ベンディツクス，マーク・スティーヴンスの主演するメロドラマである。

★パラマウント社

▽「最後の地獄船」で我國に始めて紹介された**アラン・ラツド**は「青いダリア」に續いてアーヴィング・ピシエルの監督した「米國諜報部」"O. S. S." に主演。各社で製作中の諜報部映画(「マドレイヌ街十三番地」「上衣と短劍」等)に先んじて逸早く封切られた。この作品には「ラインの監視」に主演したジェラルデイン・フイツヴエラルドが共演して居る

★RKOラジオ社

▽インタナショナル映画「暗い鏡」"The Dark Mirror" が**ロベルト・ジオドマーク**の監督で完成した。復員したルウ・エアーズの第一回主演映画で，**オリヴイア・デ・ハヴイランド**が善惡二人の双生兒の姉妹を演じるほかトマス・ミツチエルが探偵として主要な役を演じて居る。

★ユナイテツド・アーチスツ社

▽デイヴイツド・L・ロウ・プロダクション「カサブランカの一夜」"A Night in Casablanca" が發賣された。**マークス三兄弟**主演の喜劇でチヤールス・ドレーク，ロイス・コリアー，シグ・ルーマン，リゼツト・ヴエリー等が助演し，アーチー・メイオが監督したもので，カサブランカのホテルを背景にし，グルーチョがその支配人を演じる。

▽**チヤーリー・チヤツプリン**は「殺人の喜劇」"Comedy of Murders" の監督を近く開始するが，この映画のロケーション場面はロバート・フローレーが受持ち，セツト場面のみをチヤツプリンが監督する筈である。フローレーはパラマウントやウオーナーの映画を數多く監督した事のあるフランス生れの古い映画人である。

★ウオーナー・ブラザース社

▽アン・シエリダン，アレキシス・スミス，デニス・モーガン，ジエイン・ワイマン等を主役とした「もう一つの明日」"One More Tomorrow" が發賣された。これは嘗てレスリー・ハワード，アン・ハーディング主演で作られた「アニマル・キングドム」の再映画化で，ベンジヤミン・グレイザーが製作し，ピーター・ゴツドフリーが監督した映画である

▽ヴインセント・シヤーマンの監督した「ジユニーの結婚」"Janie Gets Married" も發賣された。新人**ジヨーン・レスリー**とボツブ・ハツトンの主演する喜劇で，これにはアン・ハーディング，エドワード・アーノルド，故ロバート・ベンチリー等が助演して居る。

ハリウッド短波放送

ハリウッド最新のニュースをキヤッチしました

田村幸彦

↑ Lana Turnerラナ・ターナー。清新潑剌たるMGMのスター。目下新しい主演映画「郵便屋は二度ベルを鳴らす」で凄い人気を煽つてゐる。

原子爆弾映画撮影開始

六月號で報道したMGM映画「發端か終焉か」"The Beginning or the End" の撮影が愈々開始された。これはハル・ウオーリスが自分の用意した脚本「最高の秘密」"Top Secret" をメトロに提供し、共同作品としたもので、監督はノーマン・トーログが當り、プロデューサーはサム・マークスである。ブライアン・ドンレヴィー、ロバート・ウオーカー、ライオネル・バリモア、トム・ドレーク、ビヴァリー・タイラーが主演して居る。目下撮影所特殊技術部の悩みは、原子爆彈の爆音を如何にして錄音するかと云ふ點に注がれて居る。アメリカ人でこの音を實際に聞いたものは一人も居ないからである。

「永遠のアムバー」製作一時中止

好色小説として問題を起した「永遠のアムバー」"Forever Amber" が二十世紀フォックス社でジヨン・エム・スタールの監督で撮影が開始されたことは前號でお知らせした通りであるが、撮影が一ケ月進行してから、監督のスタールは會社と「圓滿に話合ひの上」監督の位置を去り、製作は一時中止された。ハリウッドに於ける噂によれば、役割も相當變更され八月頃から改めて製作されるであらうとの事である。主演女優は、ペギー・カミンスからジーン・ティアニーに變更されさうな形勢である。

コールマンの新映画開始

二十世紀フォックスでロナルド・コールマン主演の「故ジョージ・アプリー」"The Late George Apley" がジョーゼフ・マンキエウッチの監督で開始された。「永遠のアムバー」の出演を中途で止めさせられた英國の女優ペギー・カミンスが對手役を演じて居る。これは紐育で現在ヒットして居る同じ題の舞臺劇の映画化で、フレッド・コールマーが製作を擔當して居る。

マンキエウイッチは、これが完成し次第コロンビアへプロデューサー・ディレクターとして入社する契約をした。契約期間は最低二年間で、利益配當つきと云ふ好條件である。

ロバート・モンゴメリー監督に成る

ロバート・モンゴメリーはMGM社で第一回監督作品に着手した「青いダリア」を書いたレイモンド・チヤンドラー原作の探偵小説「湖水の女」"Lady in the Lake" をスティーヴ・フイッシヤーが脚色したもので、彼自身が主演する。その他にオードリー・トッター、ロイド・ノーラン、レオン・エイムス、ジエイン・コッター、ディック・シモンス等が共演する。

ロベルト・ジオドマーク新作品に着手

「眞紅の町」「螺旋階段」「暗い鏡」等を監督したロベルト・ジオドマークは、ユニヴァーサルでアーネスト・ヘミングウエイ原作の「殺人者」"The Killers" の監督を始めた。マーク・ヘリンジヤーのプロデュースする作品で、バート・ランカスター、エイヴァ・ガードナー、アルバート・デッカー、エドモンド・オブライエン、サム・レヴィーン等が主演する。

ジエームズ・キヤグニーフオックス映画に出演

ジエームズ・キヤグニーは數年前自分のプロダクションを作り、獨立製作者として作品をユナイテッド・アーティスツ社から發賣して居たが、二十世紀フォックス社映画「マドレイス街十三番地」"13 Rue Madeleine" に主演する契約をした。これは一本だけの特別契約で、彼が他社映画に出演するのは數年振りの事である。尚この映画の監督は既報の通りヘンリー・ハサウエイである。

ミシエル・モルガン新映画に主演

未輸入の「霧の波止場」に主演したフランスの女優ミシエル・モルガンはセイモア・ネベンザルがユナイテッド・アーティスツ社の

Paulette Goddard

ポーレツト・ゴダードその後の精進も目覚しいものがある。彼女の最近作「女中の日記」"Diary of a Chambermaid"（ユナイテツド映画）におけるドラマテイツクな演技は注目に値ひする。これは巨匠ジヤン・ルノワルの監督作品である。これと前後してレイ・ミランドと共演したパラマウント映画「キテイ」"Kitty" がある。

Claudette Colbert

モダニズムとセンチメンタリズム,「淑女と拳骨」と「追憶」の二篇で衰へざる魅力を見せたクローデット・コルベエルは、その後益々健在で、最近出演の決定した作品に「聯合の状態」"State of the Union"(パラマウント映画、大ヒツトした舞臺劇の映画化)がある。この作品では昔懐しいゲイリー・クーパーとの共演が實現される。

「肉體と幻想」 *Flesh and Fantasy* ユニヴアーサル映画 原文對譯

この「**肉體と幻想**」は**シヤルル・ボアイエ**と**ジユリアン・デユヴイヴイエ**が共同で製作した映画で、デユヴイヴイエの一九四三年度の監督作品である。映画は四つのエピソードから構成されて居るが、こゝに抜萃したのは第四のエピソード、**ボアイエ**のギヤスパーと、**バーバラ・スタンウイツク**のジョーンが、大西洋横斷の汽船の上で戀に陥る場面の臺詞である。この映画は**オスカー・ワイルド**、ラズロ・ヴアドネイ、エリス・セントジョーゼフの書いた短篇を集めたもので、脚色にはアーネスト・パスカル、サミユエル・ホフエンシユタイン、エリス・セントジョーゼフの三人が當つて居る。

JOAN—Come in!

GASPAR—You know, if you want to have a cocktail before dinner, we'd better hurry—it's half past eight.

JOAN—Didn't you get my note?

GASPAR—Yes, I was afraid you might be ill.

JOAN—It's nice of you to be so concerned about me—but I'm dining alone.

GASPAR—Is he here?

JOAN—Who?

GASPAR—Whoever prevents our having dinner together.

JOAN—I don't understand.

GASPAR—You know it didn't occur to me last night that, after all, you might not be traveling alone.

JOAN—I am traveling alone.

GASPAR—Then perhaps it is that you do not care to be seen with circus people? I am sorry.

JOAN—Don't be absurd! As a matter of fact, I admire them very much. It takes plenty of courage to do an act like yours every night.

ジョーン： お這入りなさい！

ギヤスパー： ねえ、もし晩餐前にカクテルをお望みなら、急いだ方が良いですよ。もう八時半です。

ジョーン： 貴方、私の手紙受取らなかつたの？

ギヤスパー： 受取りました。僕は貴女が病氣ではないかと心配したのです。

ジョーン： 私の事をそんなに御心配して下さるのは御親切ね。でも私は一人で晩御飯を頂きますわ。

ギヤスパー： 彼はこゝに居るんですか？

ジョーン： 誰？

ギヤスパー： 誰だか知らんが僕等が一緒に晩飯を食べるのを邪魔する人です。

ジョーン： 貴方の仰有る事判らないわ。

ギヤスパー： つまり貴女が一人で旅行して居ないのぢやないかつて事が、昨晩は氣がつかなかつたのですよ。

ジョーン： 私、一人で旅行してます。

ギヤスパー： ぢや多分貴女はサーカス人種と一緒に居る所を見られたくないつて譯でせう。すみません。

ジョーン： 馬鹿な事仰有るもんぢやないわ！

GASPAR—Who told you about my act?

JOAN—Your manager, Mr. Iamarr.

GASPAR—When?

JOAN—This afternoon I asked him if it was dangerous, and he said it was at your last performance in London you didn't jump. Now what are you going to do?

GASPAR—Have dinner with you.

JOAN—No! I mean in New York. Are you going on with your act?

GASPAR—I don't know. I have another act ready—less dangerous—almost as effective. You see—I'm not as brave as you think.

JOAN—Aren't you taking a risk on insisting on seeing me?

GASPAR—If I am, it's a charming one, but I've been thinking—have you ever met someone for the first time and felt sure that you'd met before?

JOAN—Yes—

GASPAR—Well, that's what happened to me last night when I saw you. I recognized you at once as the women of my dream.

JOAN—The one with the earrings.

GASPAR—Yes, you must have thought I was crazy! But mind you, it's quite possible that I did see those earrings somewhere... ...I see you travel quite a lot, too,—Shepeard's Hotel, Cairo—I was there in twenty-nine—and you remember the scent of cinnamon and amber when the wind blows in from the North—

JOAN—And I remember the perfume of orange blossoms in Palestine on the road to Jericho—

GASPAR—Monte Carlo—do you remember the magic of moonlight on the sea from the terrace?

JOAN—I remember Amalfi—the fishermen's songs at twilight as they sailed their little black boats for home.

GASPAR—Amalfi—I spent the winter there—that same year.

JOAN—I had already left.

GASPAR—Who are you? Won't

English text of dialogues with Japanese translation

臺辭拔萃

貴は私、彼等にとても敬服してるのよ。毎晩貴方の樣な演し物をするには、勇氣が澤山要りますわ。

ギヤスパー： 僕の演し物を誰に聞いたんです？

ジョーン： 貴女のマネジヤーのラマーさん。

ギヤスパー： いつ？

ジョーン： 今日の午後、私が危險かどうかつて彼に訊いたのさ。さうしたら彼は、貴方の倫敦での最後の公演で、貴方は飛ばなかつたと云ひました。で、貴方はこれから、どうする積り？

ギヤスパー： 貴女と晩飯を食べます。

ジョーン： いゝえ！ 私の云ふ意味は經育でよ。貴方は自分の演し物を續けて行くの？

ギヤスパー： 判らない。僕は他の演し物を用意して居ます。——危險はずつと少くて、殆んど同じ位受けるでせう。僕は——貴女の考へる程勇敢ではないんですよ。

ジョーン： 貴方は私に會はうと強いてなさるけど、危險を冒してると思はないの？

ギヤスパー： もしさうなら、それは樂しい危險です。然し僕は考へてたんですが——貴女は誰かに初對面で會つた時に、その人にいつか前に確かに會つた事がある樣な氣がした事はありませんか？

ジョーン： あるわ。

ギヤスパー： つまり、昨晩僕が貴女に逢つた時、僕はそんな氣がしたんです。僕はすぐ貴女が僕の夢の中の女だと判つたんです。

ジョーン： 耳環をつけた女ね。

ギヤスパー： さうです。貴女は僕を氣狂ひだと思つたに違ひない！ 然し忘れないで下さい。僕があの耳環をどこかで見た事があると云ふ事は非常にあり得る事です。——僕は貴女が非常に方々を旅行する事も判ります。カイロのシエパード・ホテル——僕はあそこへは一九二九年に行きました。北の方から風が吹き込んで出る時の肉桂樹と琥珀の匂ひを覺えてるでせう。

ジョーン： それから私、ジユリコへ行く途中のパレスタインのオレンヂの花の香りも覺えてますわ。

ギヤスパー： モンテ・カルロ——貴女はテラスから見た月の光の海の上の魔法を覺えてますか？

ジョーン： 私、アマルフイを覺えてるわ。小さい黑いボートの帆を上げて家路につく黃昏時の漁師の唄を。

ギヤスパー： アマルフイ——僕はその同じ年に、あそこで多を過しました。

ジョーン： 私はもう去つて居たわ。

ギヤスパー： 貴女は何者です？ 話してくれませんか？

ジョーン： 貴方の夢の女よ。

ギヤスパー： 何故貴女はラマーに僕の事について色んな質問をしたんです？

ジョーン： 好奇心よ。

ギヤスパー： 判りました。では貴女は質問が出來るんですね。

ジョーン： すみません。

ギヤスパー： ねえ、もし僕がこれ以上何も質問しないと約束したら、今晩僕と一緒に晩飯を食べてくれますか？

ジョーン： 私、お腹が空いてないの。

ギヤスパー： そりや悲しい。では僕は一人ぼつちで晩飯を食はなきや成らん。少くとも、もし——

ジョーン： これがさうなの？ 二つの小さい竪琴の形よ。

ギヤスパー： これも夢なのかしら？

ジョーン： 私はこの耳環を今迄一度もつけた事がないのよ。

ギヤスパー： 一度もない？

ジョーン： えゝ、一度も。

ギヤスパー： 君だつたんだ！ 僕等はこの船で逢はざるを得ない樣に出來てたんだ。

ジョーン： えゝ、變ねえ。出帆の四時間前迄私は出發するだらうと知らなかつた。

ギヤスパー： 何か起つたんですか？

ジョーン： 色んな事や事情よ。私は出發しなくちや成らなくなつたの——

ギヤスパー： 運命だ！ 君は怖くない？

ジョーン： 貴方こそ怖がるべきだわ。

ギヤスパー： 本當に僕が怖がるべきだと思ふ？ 或は僕は僕の夢を誤解したかも知れない。——ことによると、あれは僕が君の所へ來る道を照す松明であつたのかも知れない。ねえ君、僕は乾度、長い間、君を搜して居たに違ひない。

ジョーン： 私達は一緒に方々素敵な所を歩いたわ。ねえ？

ギヤスパー： パレスタインを覺えてる？ ジエリコへ行く途中のオレンヂの花の匂ひ！

ジョーン： 私、モンテカルロを覺えてるわ。テラスの上の月光の魔法を。

ギヤスパー： 君アマルフイを覺えてる？ 黃昏時の漁師の唄を？

ジョーン： いゝえ、いゝえ、私、何も覺えてない。何も覺えたくない。過去はすぎ去つたわ。明日の事を私に考へさせないで頂戴！

you tell me?

JOAN—The woman of your dream.

GASPAR—Why did you ask Lamarr all those questions about me?

JOAN—Curiosity.

GASPAR—Oh, I see. So you can ask questions.

JOAN—I'm sorry.

GASPAR—Now look, if I promise not to ask any more questions, will yon dine with me tonight?

JOAN—I'm not hnngry.

GASPAR—That's very sad—so I have ta have dinner all by myself—at least if—

JOAN—Are there the one's? Shaped like two little lyres.

GASPAR—Is this a dream, too?

JOAN—I have never worn these earrings before.

GASPAR—Never?

JOAN—No, never.

GASPAR—It was you! You see we were bound to meet on this boat.

JOAN—Yes, it is strange. Four hours before sailing I didn't know I would leave.

GASPAR—What happened?

JOAN—Oh, lots of things—circumstances. I had to leave—

GASPAR—Destiny! Does it scare you?

JOAN—You are the one who should be scared.

GASPAR—You really think I should? It might be that I misunderstood my dream—perhaps it was a flare lighting my way to you. Darling, I must have been searching for you—such a long time.

JOAN—We've been so many wonderful places together. Haven't we?

GASPAR—Remember Palestine—the perfume of orange blossoms on the way to Jericho!

JOAN—I remember Monts Carlo—the magic of moonlight on the terrace.

GASPAR—Do you remember Amalfi—the fishermen's song at twilight?

JOAN—No, no, I don't remember anything—I don't want to remember anything—the past is gone—don't let me think of tomorrow.

生ける英語を學ぶにはアメリカ映画に如くものはない・米會話を學ばうとする者はこの珠玉を見逃してはならない

ゲイブル、健在

歐洲の戰線から目出度く凱旋したクラーク・ゲイブルは、歸還第1回主演映画「冒險」を完成後、休暇をとつてカリフオルニアのペブル・ビーチで長閑な數週間をすごしました。この休暇には英國の俳優レツクス・ハリソン、ナイジエル・ブルツス、ダヴイツド・ニヴエン等が同行しました。颯爽とゴルフのバツトを振るゲイブル、中空を截つてとぶボールを見送るゲイブルの眩しさうな目……。(Sun-Acme 5/17)

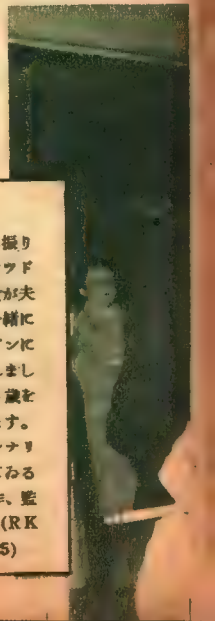
貝殼にきく

貝をそつと耳にあてゝ、心しづかに耳を澄ますと、貝は泣くやうに呟くやうに心音を傳へるといひます……ソバカスの人氣スター、ヴアン・ジョンソンと今賣出しの新人ジューン・アリソンの2人が、貝殼を耳にあてました。お靜かに……ジョンソンの貝が囁きました。今日も撮影所の門前に、ちんぴらフラツパーが彼の歸りを待ち伏せしてゐるから御用心と……。(I. N. S. 5/30)

わたしのママさん

ジユデイ・ガーランドも今では大した人氣スターになりました。「ブロードウエイ」を見た方は、唄に踊りに、彼女の達者なことに思はず目をみはつたことでせう。その彼女も、少女スターから Mrs. になつたデイアナ・ダービンと同じやうに、つひ最近ママとなりました。ベビーは女の子で名前をリザといひます。この名前は、彼女と夫のヴインセント・ミネリの2人が日頃愛好してゐる歌“リザ”からとつたものです。尙夫のミネリは MGM の監督で、彼女の主演映画を既に數本監督してゐます。(Sun-Acme 5/17)

お久し振りに‥‥

ロザリンド・ラツセルに久し振りにお目にかゝります。ハリウツドのレストラン・ラルーに彼女が夫のフレデイー・ブリソンと一緒に現れたところを、彼女のフアンにつかまつてサインを所望されました。夫妻にはこの5月で滿3歲を迎へた1人の男の子があります。尙彼女最近の主演映画は名シナリオ・ライターとして知られてゐるダツドリー・ニコルスが製作、監督する「シスター・ケニー」(RKO 映画)です。(I. N. S. 4/25)

This is Hollywood!

I.N.S., Sun-Acme 特約ハリウツド・スナツプ
Hollywood Snapshots exclusively furnished by I. N. S. and Sun-Acme

傷ついたクーパー

亂れた頭髪、傷ついた顔、破れた服……これはゲーリー・クーパーの一番新しい主演映画「上衣と短劍」における扮裝です。クーパーはこの映画で間諜の役を演じてシリアスな演技を見せてゐます。このスナツプは同映画撮影中、スクリプト・ガールの手にしたストツプ・ウオツチでタイムを計りながら臺辭の練習をしてゐるところです。(I.N.S. 6/6)

アラン・ラツド御夫婦

「最後の地獄船」で初めて日本のフアンに紹介されたアラン・ラツド夫妻が、ある催し物に顔を出したところ、マイクロフオン氏に摑まつて早速御挨拶を……といふことになりました。アラン・ラツド夫人の顔は、古いフアンなら見覺えがあるでせう。彼女こそ、オールド・フアン若かりし頃、潑剌たる容姿と明るい演技で人氣のあつた喜劇女優スウ・キヤロルその人です。(I.N.S. 5/9)

こんな娘がゐました

ワーナー映画「ミルドレッド・ピヤース」で 1945 年度のアカデミー女優演技賞を獲得した**ジヨーン・クロフオード**は、ダグラス・ジユニア、フランチヨットト・トーン、フイル・テリーと三度の結婚生活に破れて現在獨り身ですが、その彼女にはクリステイナといふブロンドの可愛い娘があります。このスナツプは、クロフオード母娘がMGM映画のオヤヂ、ルイズ・B・メイヤーと一緒のところです。(I.N.S. 5/30)

盗難品かへる

ヘデイ・ラマールが人前も憚らず泣いてゐます。場所は羅府警察署の一室、大分前盗難にあつた彼女秘藏の高價な寶石類が、無事に彼女の手に還つてきたゝめつひ嬉しくて……ナアンだ！傍の男は彼女の夫ジョン・ロダーです。(Sun-Acme 5/19)

トーンと奥様

ジョーン・クロフオードの２度目の夫**フランチヨツト・トーン**は、クロフオードと離婚後、ジーン・ウオーレスといふ女性と結婚しました。彼女は美しい赤蕎色の頭髪を持つた女優で、トーンと結婚したのは今から５年前のことです。トーンは２人の男の子の父親であります。このスナツプはハリウツドのクライロン・レストランで食事をとる御兩人です。(I.N.S. 6/13)

奥様と御一緒

「銀嶺セレナーデ」と「追憶」でわが國の銀幕にデヴュウしたジョン・ペイン——ロバート・テイラー型の水際立つた二枚目振りは、日本の女性フアンの胸をときめかしたことでせう。その彼氏の夫人が最近賣出しの新人グロリア・デヘヴエンであります。ジョンは今年 34 歳、6 呎 3 吋のノツポの彼氏に對して、奥様は小柄で可憐、このお 2 人がお揃ひでコステユーム・パーテイに西部人のいでたちで現れたところをパチリッ！(I. N. S. 6/6)

競馬に夢中

若い男性の間で凄く人氣のあるベテイ・グレイブルが單身競馬場に現れました。そしてスポーツ・アナウンサーとして著名なジョー・ヘルナンデスから馬の選擇について祕傳を授かつてゐます。彼女と彼女の夫ハリー・ジエームス（バンド・リーダーの第一人者）は夫婦揃つて相當な競馬マニアです。(I. N. S. 6/6)

曇後晴

ハーバート・マーシヤルが彼の私生活において、映画を地で行つたやうなロマンスの主人公になつてゐます。といふのは、ジエイムス・キヤグネーの弟ウイリアム・キヤグネー夫人（元映画女優のブーツ・マロリー）との間に愛情が芽生えて、お互ひの配偶者との間に法律上の離婚が成立した曉には、結婚するだらうといふところまで行つてゐます。このスナツプはクラブ・モカムボに現れた噂の御兩人です。(I. N. S. 5/16)

せると云はれる。

ラツセル・メテイの撮影は、この映画の氣分を助ける優れたものださうである。映寫時間一時間二十五分。

豫約無しで

Without Reservations

RKO・ラスキー・ナタイワン映画

ジエシー・ラスキーの製作した喜劇で、監督はマーヴイン・ルロイ。ジユーン・アレンとメイ・リヴイングストン合作の小說をアンドルウ・ソルトが脚色したもので、**クローデツト・コルベール**と**ジヨン・ウエイン**が主演する。

コルベールはキツトと云ふ女流作家に扮して居る。キツトのベスト・セラーがハリウツドの映画會社で映画化される事に成り、彼女は西部行きの汽車に乘る。彼女の小說は歸還勇士を主人公としたもので、彼女の考へではケイリー・グラントが主役を演じなければ成らないのだが、彼は出演映画の都合で、どうしても出演が不可能である。そこでキツトは映画會社との契約を破棄しようと考へるのだが、偶然彼女はラステイー（ジヨン・ウエイン）と、彼の戰友のデインク（ジヨン・デフオア）と云ふ二人の歸還勇士に會ふ。彼女はラステイーならば、自分の小說の主人公を演じるのに適役であると考へ、二人から離れない爲にシカゴからの汽車に乘らず、二人と行動を共にしようと決心する。こゝから「或る夜の出來事」を思はせるような喜劇が展開するのである。最後に三人はハリウツドに到着して、お定まりの結末に成るのであるが、**ケイリー・グラント**、**ジヤツク・ベニー**、ルウエラ・パースンス等がハリウツドの場面では姿を見せて興を添へて居る。

コルベールの喜劇的才能は、最近「淑女と拳骨」で遺憾なく示されたが、この映画でも喜劇女優としての天分が徹頭徹尾發揮されて居る。映寫時間一時間四十七分は少し冗長に過ぎ、途中で多少退屈な部分があるさうであるが、あらゆる點で一流映画たる貫錄は充分に具はつて居るさうである。

Joan Fontaine
ジヨーン・フオンテイン

薔薇の亡靈

Specter of the Rose

リパブリツク映画

異色ある作家**ベン・ヘクト**がリパブリツク社へプロデユーサー兼脚色家兼監督として入社後第一回作品として製作したのが此の映画である。ヘクトは嘗て「情熱なき犯罪」「生きてるモレア」と云ふ異色篇をパラマウントから發表してセンセイシヨンを起した事があるが、この映画もどうやら上記二篇に劣らぬ風變りな藝術映画らしい。

ヒツチコツクの「スペルバウンド」を代表作として、精神病者を扱つたメロドラマが流行して居るが、この映画も主人公はマツクス・ポリコフと云ふ精神病のバレエ・ダンサーである。彼は普段は常人と變らないが、幻覺を起すと音樂が聞えて來て、彼は薔薇の亡靈と云ふバレエを踊り出し、妻の咽喉を掻き斬りたい衝動に驅られるのである。物語は彼が最初の妻を殺した直後から始まる。彼の一座の花形バレリーナのラ・ベル・ジルフは、彼の此の病を知りつゝも彼に同情し、その同情は愛に變り、自分の愛の力で彼の病を癒やしてやらうと決心して、彼と結婚する。當座はマツクスの病氣も起らず、バレエの公演も成功裡に續けられるが、やがて豫期された樣に突然マツクスの病氣が起り、第二の妻を殺さうとする。周圍の人たちが氣がついて、危くこの企ては遮られたが、ジルフは夫を愛し、尚も夫の病氣を癒し得ると信じて、夫をホテルの一室に隱し看護に努める。數日間の不眠不休の看護で、彼女は疲れ切つて眠りに陷る。マツクスは又も幻覺が起り、バレエを踊り始め、ナイフを妻の咽喉に擬すが、妻を殺す前にバレエの跳躍をして、窓から地上へ墜落して慘死してしまふ。妻のバレリーナは悲しみを隱して一座に歸る。

この悲劇がヘクト一流の諷刺と半分眞面目で半分滑稽な手法で展げられるのである。俳優は殆んど無名の人たちだけで、主人公が**ミカエル・チエクホフ**、その妻が**ジユデイス・アンダースン**であるがライオネル・スタンダーがグリニチ・ヴイレヂの詩人に扮して登場し、ヘクト式の臺詞をのべつ幕なしに例の調子で喋るさうである。その他イワン・キロフ、ヴアイオラ・エツセンと云ふ二人の本物のバレエ・ダンサーが出演して、靑春味を添へて居る。

リー・ガームスが協同製作者及撮影監督として參加して居るので畫面の美しさはズバ拔けて居る。殊に反響を呼ぶだらうと云はれるのは、この映画のラヴ・シーンで二人は四呎位離れたまゝであるが臺詞と、キヤメラ・ワークとカツテイングの巧みさで、今迄スクリーンに現はれたどのラヴ・シーンよりも興奮を與へると評されて居る。僅か十六萬弗の製作費で完成された事も、ハリウツド映画としては珍らしい。映寫時間は一時間三十分である。

Dorothy Lamour
ドロシー・ラムアー

Latest American Pictures ★ 新映画紹介

身に沁みる風
The Searching Wind
パラマウント映画

ハル・ビー・ウオーリスの製作した社會劇で、「ラインの監視」の**リリアン・ヘルマン**が、一九四四年に書いた同じ題名の舞臺劇の映画化である。この劇が紐育で上演された時は、例のハーマン・シヤムリンが演出に當つたが、今度の映画化に當つてはヘルマン自身が脚色し、**ウイリアム・デイーターレ**が監督を擔當した。

内容は過去二十五年間のヨーロツパの社會情勢を背景として、アレツクス・ヘイズン（**ロバート・ヤング**）と云ふアメリカの外交官の生活を描いたものである。ヘイズンはヨーロツパ駐在の外交官であるが、ムツソリーニがローマに進軍して、フアシストが伊太利の政權を握つたり、獨逸に於けるナチズムの擡頭などを、當然國務省に報告すべきであるに拘らず、その重大性を見逃して報告を怠る。彼の妻エミリー（**アン・リチヤーズ**）は、社交界の花形としてこれら大事件に蔭の糸を引く連中と交際し、社會の變化に無頓着な日々を送り、ヘイズンの生活を不幸にする。ヘイズンには、當然結婚すべきであつた婦人新聞記者カシー・ボウマン（**シルヴイア・シドニー**）と云ふ戀人があり、彼はある事情でエミリーと結婚する事と成つたのであるが、彼のカシーに對する戀は、不幸な結婚生活が續くにつれて昂まつて行く。

かうして幾つかの國民の運命が破滅に向つて進むのと平行しつゝ同じ様な破滅に向つて進む戀物語が展げられて行くのである。

これは「ラインの監視」を觀たものには想像がつくやうに、原作者たるリリアン・ヘルマンの鋭い社會批判が全篇に溢れて居る高級な映画である。製作者たるハル・ビー・ウオーリスは、ウオーナーの製作部長であつた頃にヘルマンの「小狐」や「ラインの監視」を映画化した人であるが、獨立して作品をパラマウントから發表する様に成つた現在又もヘルマンの舞臺劇を手掛けるとは、餘程ヘルマンの劇が氣に入つたものに違ひない。配役もロバート・ヤング、シルヴイア・シドニーと云ふ異色ある顔合せで、殊に最近のシルヴイア・シドニーの進境は見事なものだと傳へられるから、一層興味が持てると云ふものである。

監督は「科學者の道」「惡魔の金」「偉人エーリツヒ博士」など一癖ある映画を作つたデイーターレ、撮影は名手リー・ガーメスである。映寫時間一時間四十七分と云ふ堂々たる大作である。

見知らぬ人
The Stranger
RKO・インタナショナル映画

才人**オースン・ウエルズ**が監督及主演した新しい作品で、**エドワード・ヂー・ロビンスン**と**ロレツタ・ヤング**が共演する。原作はヴイクター・トリヴアスとデクラ・ダニングの共作に成るオリヂナルで、これをアンソニー・ヴイーラアが脚色した。

ウエルズは、自分の素性を抹殺してアメリカに來たナチの惡人ランキンに扮し、彼の輝かしい經歴の中でも最高の演技を示す。ロビンスンは此のナチを逮捕する爲に政府から派遣された探偵ウイルスンに扮して、例の如き素晴らしい演技を見せる。ヤング孃は、ウエルズと結婚する大審院判事の娘の役で、夫に對する愛と、夫に對する恐怖と疑惑の間に惱み悶える至難の役を見事に演じて居る。

物語はアメリカの小さい靜かな町ハーバーを背景として展げられる。この町の教會の塔には何年間も動かない十七世紀の大時計が据ゑられて居る。この時計がランキンを破滅させる重要な役割を勤めるのである。

ランキンはこの町の少年の寄宿學校に先生として雇はれる。彼はあらゆる點で自分の素性を隱すことに成功したが、時計に對する興味と、それを修繕しようとする欲望だけは押へる事が出來なかつた。彼が大審院判事の娘メエリーの愛を克ち得て、二人が結婚式を擧げる事に定められた日、この町へ一人の見知らぬ男が現はれる。この男は解放されたナチ黨員であるが、ランキンは此の男から自分の素性が露見するのを恐れ、彼を殺害して、その死體を森の中に埋める。

こゝから物語は非常な緊張味を帶びて來る。ロビンスンの扮するウイルスン探偵がランキンの身邊に迫り、メエリーは自分の結婚した男の素性を知る。遂にランキンは時計塔に押詰められ、メエリーとウイルスンと町民たちによつて彼の退路は斷たれる。彼は塔から身を躍らして、時計の飾りについて居る彫刻人形の手に持たれた劍の上に落ち、悲慘な死を遂げる。

この邊りのウエルズの監督手法はアルフレッド・ヒツチコツクを思はせる様な恐怖とサスペンスを見

Clark Gable MGM 映画「冒険」で數年振りにスクリーンにカムバツクしたクラーク・ゲイブルは、相變らずタフな演技でフアンの喝采を博してゐる。港々に女ありといつたタイプの船乘りの役は、グリア・ガースンの共演を得て一段の魅力を發揮してゐることゝ思ふ。ゲイブル――がつちりと、頼母しい男である。

Gregory Peck グレゴリー・ペツクの主演映画には既報の二巨作「太陽の下の決闘」「イヤリング」があるが、前者ではジョセフ・コツトンの兄に對して惡役型の弟に、後者ではフロリダ奥地の開拓者に扮して豪快な演技を見せてゐる。野性的な西部男と山男、蓋しペツク打つてつけの役といへよう。

はれて不幸な精神狀態になつてゐることなどを聞かされた。
　リオ・デ・ジャネイロに着いて二人は觀光のため自動車で山へ登つた時、自動車事故のため船へ歸ることが出來ず、山小屋で一夜を過さねばならなくなつた。その結果船は彼女を殘したまゝ出帆してしまつたので、二人は週末を同じホテルで過した。そして愛情が囁かれ受け入れられた。彼女には生れて始めての健全な愛情であつた。しかし二人には未來がなかつた。ジェリーは既に愛情がないとはいへ病氣の妻から別れることは出來ない。シャーロットは、仕事でリオに殘るジェリーと別れて、船の後を飛行機で追つた。
　歸國した彼女を出迎えに來た義姉とその娘は、全く病癒えて見違えるばかりに美しくなつたシャーロットの姿に眼を瞠つた。彼女はボストンの家へ歸つて來てみると母は心臟病のため弱つてはゐたが依然として彼女に對して嚴格でロ喧しかつた。しかし彼女は、も早母の言ふ通りにはならなかつた。母と娘の衝突は度々繰り返された。シャーロットはその度びに自分の正しさのために鬪つた。彼女はボストン社交界の噂の的となつた。彼女の家で開かれる集りは、今迄と違つて彼女のもてなしのために樂しいものになつた。
　義姉のリーサが彼女に名家で且つ富裕なエリオット・リヴィングストンを紹介した。彼は三人の子供を殘して妻に先立たれた男であつた。シャーロットがエリオットと婚約したことは、母のヴェール夫人を喜ばした。併し、ある宴會で彼女は懷しいジェリーに合つた。ジェリーは彼女が婚約したことを聞き彼女に會はずにボストンを去らうとしたが、シャーロットは驛へ行つてジェリーに會つた。どうすることも出來ない二人の懷しい切ない別れの接吻が交された。
　エリオット・リヴィングストンとの結婚が幸福に續けられないことを悟つた彼女は、エリオットと相談した上で、婚約を破棄した。夫と家庭と子供と、そうした女の希望は彼女からは去つたが偽りの生活に入ることは出來なかつたのだ。その結果、母娘は言ひ爭ひ、ヴェール夫人は心臟麻痺のために死んでしまつた。遺産は總てシャーロットに與へられた。だが彼女は母の死に責任を感じて苦しんだ。そしてその贖罪のために人に盡すことを決心して、曾て住んでゐた精神病醫のジャクィス博士の療養所に行つた。
　そこでシャーロットはティーナといふ少女に合つた。ティーナは人おじしてゐて、自分が醜くて誰も相手にしてくれないと思つてゐる精神異常者だつた。シャーロットはその少女の中に、曾ての自分を見出して同情を禁じることが出來ず、この少女のために獻身しようと決心して療養所の看護婦となつて、ティーナの專屬になつた。そしてある日、ティーナがその父親に電話をかける時に、少女の父がジェリーであることを知つた。
　共にテニスをしたり、自動車旅行をしたり、月日と共にティーナは健康な少女になつて行き、全くシャーロットに母のやうになついた、そこでシャーロットは少女をボストンの自宅へ連れて行き養育することになつた。
　ある日、ジェリーがジャクィス博士に連れられてシャーロットの家に娘を訪ねて來た。ジェリーはティーナの樂しそうな樣子を見るにつけ、それがシャーロットの犧牲の上に築かれてゐる幸福だと感じて、シャーロットと二人になつた時言つた。
「僕はティーナを連れ歸る、この前貴女は僕と合つたためにリヴィングストンと結婚しなかつた、今はまた娘がゐるために、貴女を幸福にする男を探すことも出來ない僕と娘の幸福はみな貴女の自己犧牲のためなのだ。奪ふばかりで與へることの出來ないのが僕は辛い」
「いゝえ、違ひますわ、ティナーが私と一緒に暮したいと言つた時私はほんとに嬉しかつたのです、貴女の子供、貴方の一部を持つ樣な嬉しさでした。それは憐みではありません、私の歡びなんです」
　ティーナを通して自分へ寄せる彼女の愛情をジェリーは理解した。そして彼女を抱いて接吻しようとしたが、シャーロットは崩れようとする感情に抗かつて言つた。
「離して下さい」
　ジェリーは昔度々したやうに、二本の煙草をくわえて火をつけると、一本を彼女に渡した。男女の愛以上に深い、永久に消えない愛情が、見合ふ二人の眼に光つてゐた。

呪ひの家 ☆☆
Uninvited

「桃色の旅行鞄」と同じくルイス・アレンの監督作品で、「桃色の旅行鞄」が一九二〇年代の風俗を描いた喜劇であるのに對して、とれは怨靈の執念を扱つた怪奇映画である。あれとこれとでは、題材はまるで違ふが演出の凡庸な點では不幸にして一致點を見出す。ドロシイ・マカアドルの小説を映画化したもので「レベッカ」のスリラーを模倣したやうな作品だが、それにしてはスリラーとしての冴えた凄味と迫力に缺けてゐる。スリラーは凡庸な演出を以てしては到底效果をあげ得ないといふことれは一證左だ。
　この映画を見てステラを繞る二つの怨靈と、怨靈に絡む過去の經緯を完全に理解出來たファンが果して幾人ゐるだらうか。この點アメリカで作られた日本版の不手際を指摘しておく必要がある。(パラマウント映画、十巻)

幽靈紐育を歩く ☆☆☆
Here Comes Mr. Jordan

同じ亡靈を扱つても「呪ひの家」とこれとでは、氣の利いた新劇と泥臭い新派を見てゐるやうな大きな隔りを感じる。飛行機事故で死んだ筈の男が、まだ五十年餘命のあることが解るが死骸は既に火葬にふされてゐるため還るべき身體がない。そこで適當な死骸を探して紐育を歩くといつた人を食つた物語だ。ハリー・セゴール原作の舞臺劇をシドニイ・バックマンとシートン・I・ミラーが共同脚色し監督は「此の虫十萬弗」のアレキサンダー・ホール、脚色、演出における、人物の捌きの巧さと大膽な構成は注目に價ひするアメリカ映画の洗煉された近代趣味をもつた特異な喜劇として多分に興味を唆るものがある。若しこれだけの題材をわが國で映画化したとしたら……思ひ半ばにすぎるものがあるだらう。學ぶべき點を多分に持つた作品だ。(コロムビア映画、十巻)

最後の地獄船 ☆☆
Two Years Before the Mast

海員法が制定される前の、「海の監獄部屋」ともいへる虐使される海員の慘めな生活を描いた活劇だ。然し胸のすくやうな活劇を期待したら失望する。この映画の活劇調は終始一本調子で劇的效果をあげるための緩急の不手際やクライマックスの構成の弱さ等が作品の迫力を散逸なものにしてゐる。監督はジョン・ファロー、主役は私達には新顏のアラン・ラッド。活劇映画としての娛樂性の中に、海員法制定に絡む社會的問題を提示してゐるが、こんなところにもアメリカ映画の企畫の如才なさを見ることが出來る。(パラマウント映画、十巻)

大黒東洋士

情熱の航路

"Now, Voyager"

アーヴイング・ラツパー監督作品

ベテイ・デヴイス
ポール・ヘンリード 主演

☆

シヤーロツト・ヴエール……ベテイ・デヴイス
ジエリー・デユランス……ポール・ヘンリード
ジヤクイス博士……クロード・レインズ
ジユーン・ヴエール……ボニタ・グランヴイル
リーサ・ヴエール……イルカ・チエース
ヘンリー・ウインデル・ヴエール夫人
……グラデイス・クーパー
テイーナ・デユランス……ジヤニス・ウイルスン
エリオツト・リヴイングストン……ジヨン・ローダー
デツブ・マツキンタイヤ……リー・パトリツク
トムスン氏……フランク・パングボーン
チヤールズ・ドレーク……レスリー・トロツター

ワーナー・ブラザース映画

Coming New Picture

解説　「ステラ・ダラス」の著者オリーヴ・ヒッギンス・プロウテイの原作を映画化したハル・B・ウォーリス作品。脚色はケーシイ・ロビンスン、監督は、ピュリッツァ受賞小説 "In This Our Life" に基く映画でベティ・デヴィスを指導した**アーヴイング・ラッパー**である。撮影監督はソール・ポリート、編輯はワーレン・ロウ、音樂はマックス・スタイナー。主演の**ベティ・デヴィス**は贅言するまでもない第一級の女優で既にアカデミー演技賞を二度獲得してゐる。相手役の**ポール・ヘンリード**は本誌六月號掲載「カサブランカ」の項で記した通りロンドンの舞臺出身で、一九四一年二月ウォーナ社と契約した。デヴィスの嚴格な母親に扮するグラディス・クーパはロンドン劇壇の最も美しい女優として曾て人氣を得てゐた。クロード・レインズは「カサブランカ」でお馴染の古い女優、イルカ・チェースはニュー・ヨークの舞臺俳優、ヘンリードの娘役をしてゐる十二歳のジャニス・ウイルスンは「ラインの監視」にデーヴィスの娘として出演してゐる。その他ボニタ・グランヴィル、ジョン・ローダーが助演してゐる。一九四二年度作品。

梗概　シャーロット・ヴェールはボストンの名家ヴェール家の末娘として生れた。彼女の母のヴェール夫人は、非常に嚴格な口喧しい婦人で娘を自分の思ひ通りに教育しようと娘の一擧手一投足に至るまで干渉するのだつた。外出も禁ぜられた、戀愛も獸のやうなことだと言はれて出來なかつた。その結果二十八歳になつたシャーロットは、若さの片鱗さへ見られない醜い容姿で、しかも人を恐れ、自らを劣等視する神經の異常な父となつてしまつた。

シャーロットの義姉のリーサは妹の身を案じてある日精神病醫のジャクイス博士を連れてヴェール家を訪れて來た。博士は厭がるシャーロットを觀察した結果、病狀が非常に昂進してゐるので、療養所へ入ることを薦めた。家の名譽を第一に考へてゐるヴェール夫人は醫師に反感を持つてゐたが仕方なく醫師の申出に應じることになつた。

ジャクイス博士の治療でシャーロットの病狀は殆んど回復しかけてゐた。義姉のリーサは彼女を美容院に連れて行き容姿を美しくした。彼女は心も姿も健かに美しくなりつゝあつた。博士は彼女に海外への旅行を薦めた。そして餞けにワルト・ウィットマンの詩の一句「いざや旅人、船出して求め見出せ」を示し、出來るだけ會ふ人、見る物に興味を持ち、且つ大膽であれ、と忠言するのだつた。

シャーロットは船に乘つて南米への旅行に出發した。その船の中で、彼女は旅行團の支配人トムソンに紹介されたジェリー・デュランスと行を共にすることになつた。ジェリーは建築家で南米へ仕事のために旅行に出たのだつた。寄港地毎に、そして日毎に二人は親しくなつて行つた。しかしある日、彼女はジェリーの友人の細君から、彼には病氣の妻があり、その妻との間にはティーナといふ一人娘があることその娘は、母親から嫌

→「乙女の湖」その他のフランス映画でお馴顔みのジャン・ピエール・オーモンと彼の夫人マリア・モンテス。「心のときめき」でジンジャー・ロジャースと共演したオーモンは、新作「ヘートの女王」で夫人と共演することになつてゐる。

オルター・ブレナン)をルネ・クレールはユニヴァーサルで「ニューオーリンズの情火」Flame of New Orleans(製作ジョー・パスタナック、脚本ノーマン・クラスナ、出演マレーネ・ディートリッヒ、ブルース・キャボット、ミッシャ・アウア、アンディ・ディヴァイン)を、それぞれ監督した。

一方フランス本國では「佛蘭西座」のマルセル・レルビエ、「白鳥の死」のジャン・ブノア・レヴィ「乙女の湖」のマルク・アレグレなどが踏みとどまつて、南フランスに再建を企てたが、作品活動としては戦前の面影を偲ぶべくもなかつた。映画藝術の自由に對してハリウッドが示した抱擁力の大きさは、かうした個性の強烈な作家がハリウッドに來て、いづれも活潑な活動をやめなかつたことを思へば十分諒解されるところである。

フランス作家の手になるアメリカ映画に、ジュリアン・デュヴィヴィエの「肉體と幻想」Flesh and Fantasy(ユニヴアーザル映画、原作オスカー・ワイルド、脚色アーネスト・パスカル、サムエル・ホッフェンシュタイン、エリス・セント・ジョセフ、出演シャルル・ボアイエ、バーバラ・スタンウィック、エドワード・ロビンソン、トーマス・ミッチェル)と「マンハッタン物語」Tales of Manhattan(廿世紀フォックス映画、シャルル・ボアイエ、リタ・ヘイウオス、ジンジャー・ロジャース、ヘンリイ・フォンダ、チャールス・ロートン、エドワード・G・ロビンソン出演)及び、ジャン・ルノアルの「南部人」The Southerner(ユナイテッド・アーチスツ映画、原作ジョージ・セッション・ペリイ、脚色ルノアル、潤色ヒューゴー・バトラー、出演ザッカリイ・スコット、ベティ・フィールド、キャロル・ナイシュ、ビューラ・ボンディ)等があるが、ハリウッドの空氣を吸つたフランス作家が果してどんな仕事をしたか、格別な興味と期待をもつて迎へられることであらう。

・彼等の多くはいまでもハリウッドで仕事を續けてゐる。ルノアルはバージェス・メレディス、ポーレット・ゴダードの主演で「女中の日記」Diary of Chambermaid(前々號紹介)を完成してジョーン・ベネット主演の「望ましき婦人」Desirable Woman の製作を開始した。デュヴィヴィエは「詐僞師」The Impostを、クレールは「かくてひとりもゐなくなつた」And Then There Were None を、ジオドマークは「螺旋階段」The Spiral Staircase(前々號紹介)を、トウールヌールは「危險な實驗」Experiment Perilous を、そして「赤ちやん」「格子なき牢獄」のレオニード・モギイは「ホキッスル・ストップ」をそれぞれ製作した。然しフランスではアメリカやイギリスの資本投下なども手傳つて戰後の映画界復興が進んでゐるので、すでに歸國し或は近く歸國を決定したものも少くないらしい。俳優は多くその道を採つた。但し「乙女の湖」「地の果てを行く」のジャン・ピエール・オーモンはひとり「我等の町」のサム・ウッド監督の下に「心のときめき」Heartbeat(前號紹介)にジンジャー・ロジャース、アドルフ・マンジューと五月から出演中であり、その次にウォルター・ライシュ監督のリムスキイ・コルサコフの傳記映画「熱波」Heatwave の出演が豫定され、シャルル・ボアイエの様にハリウッドを第二の故郷にするかと見られてゐる。

René Clair ルネ・クレール

ジヤック・フエデはどうしたか

なほ、「ミモザ館」「女だけの都」のジャック・フエデは夫人のフランソアーズ・ロゼエと共にスイスに渡り映画製作に携つてゐた。最近アメリカで封切られた「婦人像」Portrait of a Woman は彼がスイスで製作脚色、監督したもので、三人の女が過去の記憶を辿つて一人の婦人に會ふといふ一寸「舞踏會の手帖」を思はせる話で、フランソアーズ・ロゼーはこゝですれつからしの大根女優のなれの果てと間抜けな中年の百姓女と放心した女教師と氣丈な船長夫人の一人四役で、見事にそれを描きわけてゐるといふ。

フエデは曾つてサイレントの末期にアメリカから招かれてメトロで三本ばかり作つたことがあるが、いづれも凡作であつた。元來徹底的にヨーロッパ的な彼はハリウッドの水に合はないことを知つてこんどもスイスへ渡つたものらしいが傍役の貧困は彼の創作活動を妨げてゐることは明らかなのでいづれはフランスに歸國するのも遠いことではあるまいと想像される。

戰争が世界の映画界に投じた波紋はいろいろな意味で問題をつくつてゐるが、フランス映画人のハリウッド滯在は、中でも最も興味ある問題であらう。最近のアメリカ映画が、取材や表現の點でかなり變化に富んできたと云はれることも、フランス映画人の活動が一端の原因をなしてゐることがないとは云へない筈だし、今後のフランス映画にも彼等のアメリカ滯在が何らかの影響を及ぼすことは否定できない。さうした角度から私達の眼前にくり展げられる外國映画をみるのはたのしくも有意義なことであらう。

佛映画人、ハリウッドに蝟集

敗れしフランス映画人その後の消息をお傳へしませう

フランス敗れたり

いまハリウッドでは、三萬にのぼる映画人が、地球上のあらゆる隅々からあつまつてアメリカ映画の製作に従事してゐる。まことにハリウッドが單にアメリカのものでなく世界のものだと言はれるのも尤もである。

フランスでも、多數の映画人をハリウッドにおくりだした。スタアでは、クローデット・コルベールの様に、パリで生れて子供のときにアメリカへ渡つて、生粋のハリウッド人種として生ひ立つたのもあれば、シャルル・ボアイエやアナベラのやうに、フランスの映画界で一應スタアになつてから、渡米してハリウッドを第二の故郷とした人もゐる。また中には、時にハリウッドから招聘されて暫らくアメリカ映画をつくりに行つてくるフランス映画人もゐた。「舞踏會の手帖」「望郷」のジュリアン・デュヴィヴィエがメトロで「グレート・ワルツ」をつくつたのなどはその代表的な例である。

一九三九年九月、こんどの世界戰爭でまつさきに、戰亂の渦中にまき込まれたフランスでは、閉鎖された撮影所をあとに他國へ難を避ける映画人が少くなかつた。彼等にとつてハリウッドは理想的な行先ではあつたが、いろいろな事情からヨーロッパの中で満足しなければならぬものの方がむしろ多いといふ實情であつたことは、「カサブランカ」を見た人は十分納得されるであらう。

まつさきにハリウッドにやつてきたのは、ジュリアン・デュヴィヴィエである。彼はアレキサンダー・コルダ（英ロンドン・フィルムのプロデューサー）と以前からの關係もあつたからで、さきにイギリスからカナダに暫く落着いたのちハリウッドに來てゐたコルダのもとで早速「リデイア」Lydia の製作にとりかかつた。悲運の一女性を描くメロドラマで脚本は「上から下まで」のブス・フエケテ、ラディス・スラウス、出演はマール・オベロンとアラン・マーシャル、ジョセフ・コットンそれに「未完成交響楽」のハンス・ヤーライなど。同時に「最後の戰鬪機」のアナトール・リト・ヴァークも「心ある人々」Gentle People（アーヴィン・ショオの戯曲の映画化、ジェリイ・ウォルド他脚本執筆、アイダ・ルピノ・ジョン・ガーフィールド、トーマス・ミッチェル出演）で仕事なしてゐたし「フロウ氏の犯罪」のロベール・ジオドマクもアン・シャーリイ主演の「可愛いマフェット嬢」を手初めに既に數本撮つてゐた。

彼等のクランクがユナイトやRKOのスタヂオで續けられてゐる際中に、他のフランス映画人もやつてきた。「どん底」「大いなる幻影」のジャン・ルノアル、「巴里の屋根の下」「自由を我等に」のルネ・クレール、「カテイア」のジャック・トゥールヌールなどの監督が、ジャン・ギャバン、シモーヌ・シモン、ダニエル・ダリウ、ジャン・ピエール・オーモン、ミシェル・モルガン等のスタアと相前後してハリウッドの土を踏んだのである。

がつちり構えた巨匠連

そしてジャン・ルノアルは廿世紀フォックスで「沼地の水」Swamp Water製作レイ・ハモンド、原作ヴェーリン・ベル、脚色ダッドリイ・ニコルズ、出演ウォールター・ヒューストン、ダナ・アンドリウ、ウ

々の發散する雰圍氣は、總じてロマンチシズムであつた。グリフィスのやうなアメリカの國粹的一面を代表する作家も、「散りゆく花」では、倫敦ライムハウスの、夢のやうな雰圍氣で、御佛の敎へを傳へる支那の青年と貧しい少女の悲戀を描き、「嵐の孤兒」ではフランス革命の哀話を扱つた。デミルのやうな市井のブルジョア生活の中に人情の機微を描くことに專心した人もやがてスペクタクル的な「愚者の樂園」や「アナトール」「十誡」に轉向した。

全體的に眺めて、歷史や、異境に取材するロマンチシズムや、異國情緒がスクリーンいつぱいに氾濫する。有名な文藝作品が、矢繼ぎ早やに映画化される。昨日まで無名の美男、美女が一夜にして人氣の王座に祭りあげられる。

革命前夜のロシアを扱つて「ロマノフ王朝の沒落」「怪僧ラスプチューン」や、日本への夢も美しい「お雪さん」「柳の精」、北京の古城を背景にした「禁斷の都」「紅燈祭」のやうな作品が作られる。

ハリウッドは、夢の工場と化した苦い現實を逃れ、未だ見ぬ世界への夢を配給するのがアメリカ映画である。戰爭の記憶の新しいアメリカであつたが、「默示錄の四騎士」が、戰爭の慘禍について觸れ「擔へ銃」で戰爭を諷刺的に扱つた他は、それについて多く語らうとはしなかつた。

第四章　ロマンチシズム映画の追憶

Lauren Bacall

ローレン・バコールは御覧の通りアクセントの強いハリウッド・グラマー・ガールの一人だ。私生活においてはハムフリー・ボガート夫人である。

アメリカ映画若き日の夢

私は、今までグリフィスや、デミルや、チャップリンや、ダグラスや、エス・ハート、或ひはトウルヌール等の名を擧げたが、それらは、藝術家として語るよりも、アメリカ映画の先驅者、開拓者として語ることが、多かつた。今の讀者に、餘りにも縁遠い昔噺を繰返し、獨りよがりの思ひ出に陷入るのを避けたかつたからである。

しかし、トーキーの華やかな時代が直ぐそこまで來てゐるのだ。トーキーの藝術性は、無聲映画の土臺の上に築かれたとしたなら、それを逸することも亦、讀者に對して不忠實ではないであらうか。

アメリカ映画のロマンチシズムや、異國情緒は幼い私をして虹の橋を渡らせ、夢の國へ遊ばせた。私は、成長してからも、シリー・シムフオニー漫畫の美しさや、「白雪姬」で現世の醜さを忘れ、しばらくはお伽の世界へ遊んだけれど幼い日には、「青い鳥」や「ジャックと豆の木」（シドニー・フランクリン監督）や、「ピーター・パン」（ハーバート・ブレノン監督）の映画を見て、夢の世界の美しさに醉つたこともある。「永遠の世界」で現世では添ひとげ得ぬ戀人の魂が夢幻の世界で相逢ふシーンに恍惚としたこともある。「ゼンダ城の虜」や、「三銃士」「ロビン・フッド」では、傳奇物語の波瀾萬疊の面白さに、思はず固唾を呑んでゐた。

先年、私はタイロン、パワー主演、ルーベン・マムウリアン監督の「血と砂」を見たけれど、その華麗な色彩と豪華な音樂にも拘らず、心を搏たれることが全くなかつた。私は二十年も前に、「血と砂」でヴァレンチノの扮する若き鬪牛士ファンガラードが宿命の一生を、鬪牛場の砂に終へるまでの物語から無氣味な感銘を受けたことをまざ〳〵と思出した。今の私は、映画觀賞家としての幸福を失つてしまつたのであらうか、と思つた。

それならトーキになつてのジキ

アメリカ映画小史 (2)　筈見恒夫

心の底から泣いて笑つた若き日のアメリカ映画の想ひ出！

Short History of American Films　*By Tsuneo Hazumi*

第三章 戰後の現實　逃避

世界映画界の興亡

四年半に亘る戰ひが終り、平和の鐘が鳴り響いたのは、一九一八年十一月十一日のことである。この戰ひと、二十年後に來るべき戰ひは、滅びゆくものと興るべきものとの運命を、はつきり區別した。滅びゆくものとは、舊世界ヨーロッパであり、興るべきものは、新世界アメリカであつた。この運命は、映画の世界に於ても例外ではなかつた。アメリカ合衆國の映画は遮二無二、全盛の道を登りつめて行つた。ハリウッドが映画の世界首都になつたのである。

私は、嘗つて、この大戰以前に、フランス映画を、その藝術性ゆえに、アメリカ映画の上位に置いた。その考へ方は、今でも變つてゐない。しかし、そのフランス映画を中心とするドイツ或ひは、イギリスの映画は、西の空へ沈んで行く夕映の美しさである。アメリカ映画のやうな、昇る朝日の男性的な美しさは望むべくもなかつたのである。デュヴィヴィエの「望鄕」や、ルノワールの「どん底」やフェエデの「女だけの都」はやがて暴虐なるファシズムに蹂し去られようとする舊世界文化の白鳥の歌であるとも云へる。

そして、フェエデをのぞく、これらの傑れたヨーロッパの映画作家たちが、第二次大戰中と、その以後を通じてハリウッドで仕事をしてゐるといふことは私にとつて興味のあることなのだ。この狀態を、直ちに前の大戰に置きかえて見ることが出來るのではないか。

物資に於て、世界第一の持てる國であるアメリカは、人的資源について、第二次大戰終了の今日まで、常に輸入國の立場であつた。云ひ更へるならば、人材を世界に求めるといふことがアメリカ映画の變らぬ方針である。第一次大戰が終つた時、アメリカ映画は一方に民族精神の高調をつとめながら一方では、戰禍を逃れて渡米した舊世界の藝術家たちの手によつて可成の程度にヨーロッパ化され、汎世界化されてしまつたのである。敗戰後の日本は「キューリー夫人」を始め、「ラインの監視」「カサブランカ」等の作品が齎らされたわけであるがこれらの作品を見ても、この大戰が、アメリカ映画のヨーロッパ化を促進したかが判る筈である。そして、その世界化の方向にこそ、アメリカ映画の永遠なる若さと、枯れぬ魅力があるのではないか。

一八年—二二年、主なる監督と作品

第一次大戰の四年間に、アメリカ映画は、多數のヨーロッパの映画作家や、俳優の移住を得て、急速な勢ひで成長して行つた。試みに、大戰の終つた一八年から二二年までの五年間の主な監督者と、その作品名を次に掲げて見る。

モーリス・トウルヌール（フランス人、近年までフランス映画界の長老として活躍）「沙漠の人影」「青い鳥」「人形の家」「モヒカン族の最後」

D・W・グリフィス（前號紹介アメリカ映画界の長老）「幸福の谷」「散り行く花」「東への道」「嵐の孤兒」

セシル・B・デミル（前號紹介グリフィスに並ぶ長老）「連理の枝」「何故妻を換へるか」「夫を變へる勿れ」「人間苦」「アナトール」「愚者の樂園」

レックス・イングラム（愛蘭人）「默示錄の四騎士」「征服の力」「ゼンダ城の虜」。ジョージ・フィッツモーリス（フランス人）「踊り狂ひて」「愛する權利」「永遠の世界」

そして、俳優としては、チャップリンが「犬の生活」「擔へ銃」「キッド」等に自作自演し、所謂ドタバタ喜劇に新境地を開拓し、「黄金狂時代」の方向へ發展し、ダグラスは「奇傑ゾロ」に始り、「三銃士」、「ロビン・フッド」の時代劇に、アメリカ映画の娯樂性の絕頂を示し、舞臺の名優ジョン・バリモーアが「狂へる惡魔」（ジキル博士とハイド氏）に立派な演技を示した。「默示錄の四騎士」に新人として紹介されたルドルフ・ヴァレンチノは、やがて「征服の力」「シーク」「血と砂」でアメリカ第一の美男として、全世界の女性を魅了し盡した。

以上、雜然と、監督者や、俳優の名前を並べ立てたがこれらの人

ポモナ
水白粉
汗止めに
アストリゼント・ローション

清新なり
爽涼感
仁丹
映画
集會
旅行
スポーツに
懐中良薬
JINTAN

Parmay
Silk
white Lotion
パーミー シルク ホワイト ローション
壽實業社

ル博士とハイド氏」「ゼンダ城の虜」「ロビン・フッド」「三銃士」、又は「永遠の世界」(ピーター・イベットソン)は、どうであつたらうか。いづれの場合も、感情の煮出したカスを眺めたに過ぎない。エロール・フリンのロビン・フッドが、如何に美しい色彩のシャーウッドの森を颯爽と跳び廻らうと、ダグラスの十分の一の夢も生れて來ない。すべての場合がそうなのだ。して見ると、ロマンチシズム映画の幸福を奪つたものは、私自身ではなく、アメリカ映画がトーキー化されたことにあるのだらうか。或ひはこの悪辣なる世界情勢の責に歸せられるべきだらうか。

新世界アメリカが、舊世界ヨーロッパの、そうしたロマンスを受けついだ時、彼等も亦若々しかつた。「三銃士」や、「血と砂」のもつ古への風俗への憧れ、舊世界への好奇が、彼等の夢を、あのやうに孕ましたのではなかつたらうか。私は自ら一つの結論を見出して讀者諸君へ、今、しばしの夢を見續けて戴くことにしたいのである。

あゝ、あの頃のアメリカ映画

もう一度云ふが、あの頃の私はどんな映画を見ても、それが夢の多い過去の物語であり、未だ見ぬ異國である限り樂しかつた。私は「バグダッドの盗賊」の主人公のやうに、魔法のカーペットに乘つて世界中を飛び廻つてゐたやうなものであつた。心貧しければこそ、神を見たのかも知れぬ。私はしばしば映画の神にめぐり逢ひさへしたのである。

地上に降立つて、私はチャップリン喜劇に涙を流してゐた。笑ひ乍ら、泣いてゐたのである。ハロルド・ロイドの喜劇も私を樂しませた。「豪勇ロイド」や、「要心無用」「人氣者」の明るさが、とてつもなく好きであつた。ウイル・ロジャースもアメリカの代表的喜劇俳優の一人である。「俺はジムさ」「身代りロメオ」「魂の入替へ」等の呑氣さが堪らなかつたチャールス・レイといふ田園喜劇を專門にする俳優がゐた。彼の傑作はユナイトへ加盟してからの「我が戀せし乙女」も忘れられぬ映画である。妹のやうにして育てられた少女へ戀をし乍ら、その戀を打明けられぬ善良で内氣な青年の惱みが、その儘に打棄てられて映画は終つてしまふ。アメリカ映画は、ロマンチックな、大きなゼスチュアの題材をとりあげる一方、このやうな長閑なユーモアや、人知れぬ寂しさを、そつと抱きしめる役目をしてゐた。いや、現實離れのした甘いロマンスが數多く映画化されゝば、その反對に、市民生活の日常性に根ざした手堅い寫實や、ロマンスのヴェールをかなぐり棄てた現實暴露の作風が、次第に擡頭して來るのである。

とりとめもない追憶には耽つたが、大戰後五、六年のアメリカ映画の雰圍氣を、この項では主としてとりあげたつもりである。
(この項終)

お斷り――サイレント映画時代を二回位で切りあげて、トーキー史をたつぷり書くつもりで、サイレント史は意を盡してゐないにも拘らず、もう一回書かないとサイレント映画の結論が出さうもありません。古い俳優や監督の名にお馴染のない讀者にせめて、その頃の雰圍氣に觸れて貰ふ目的で、この映画史を書いて行きます。

Shirley Temple

これがシヤーリー・テムプルの近影である。少女スターから娘役へ、そして私

いてはマダムへ……と

EDITOR'S NOTE

先月號の臨時增頁は非常に評判がよかつた。アメリカ直送のポートレートやスナツプは勿論のこと内容の充實してゐる點では他誌にその比を見ないといつてい〻だらう。

今月は例月號だけに量において先月號より見劣りするが、質においては決してひけをとらないと思つてゐる。

今後も紙の事情がゆるす限り臨時增頁を斷行して、アメリカ映画の紹介に、ひいてはアメリカ文化の紹介に微力を盡したいと思つてゐる。何卒御期待願ひたい。

☆

アメリカ映画の見方にはいろいろあるが、アメリカ映画からはまづ學ぶことだ。そして良識を以て豐かな文化性を摑み取れ！ 然し輕薄な模倣だけは是非とも愼んでもらひたい。もつと活眼を開いてアメリカ映画に接することだ。

S

アメリカ映画專門紹介誌
映画之友 第一卷第五號
昭和二十一年八月一日 印刷納本
昭和二十一年八月五日 發行
發行者 橘 弘一郎
編輯者 大黑東洋士
印刷者 小坂 孟
印刷所 大日本印刷株式會社
配給元 日本出版配給株式會社
東京都麴町區永田町二ノ一
發行所 映画世界社
○直接購讀御希望の方は半年分二十五圓一年分五十圓二年分百圓，爲替にて御送金下さい。
本號一部金四圓（送料十錢）
銀座連絡事務所
東京都京橋區銀座8ノ2(出雲ビル)
映画世界社 電話銀座(57)1616

「肉体と幻想」

悪魔の金 ALL THAT MONEY CAN BUY ウイリアム・デイターレ 監督 エドワード・アーノルド シモーヌ・シモン 主演	**追憶** REMEMBER THE DAY ヘンリー・キング 監督 クローデツト・コルベール ジョン・ペイン 主演
戀の十日間 I,LL BE SEEING YOU ウイリアム・デイターレ 監督 ジンジャー・ロジヤース ジヨセフ・コツトン 主演	**肉体と幻想** FLESH AND FANTASY ジユリアン・デユヴイヴイエ 監督 シヤルル・ボワイエ バーバラ・スタンウイツク 主演
我が道を往く GOING MY WAY レオ・マツケリー 監督 ビング・クロスビー バリー・フイツツジエラルド 主演	**情熱の航路** NOW, VOYAGER アーヴイング・ラツパー 監督 ベテイ・デイヴイス ポール・ヘンリード 主演

セントラル・モーシヨン・ピクチユア・エクスチエンヂ

昭和二十一年八月一日印刷納本　昭和二十一年八月五日發行　第一卷　第五號

本號一部金四圓（送料十錢）

Magazine for American Movies "Eiga no Tomo" (Friend of Movies) Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., One Copy 4 Yen